

北陸地方整備局

記者発表

発 表 日 時

平成 25 年 7 月 17 日

平成 24 年度完成 優良工事等〔局長表彰・事務所長表彰〕
及び工事成績優秀企業の表彰について

北陸地方整備局における平成 24 年度の優良工事等（局長表彰・事務所長表彰）の選定及び工事成績優秀企業を認定しましたのでお知らせします。

- （優良工事）：局長表彰 22 件、事務所長表彰 32 件）
（優良委託業務）：局長表彰 11 件、事務所長表彰 23 件）
（優良建設技術者（工事））：局長表彰 11 名、事務所長表彰 11 名）
（優良建設技術者（委託業務））：局長表彰 11 名、事務所長表彰 15 名）
（優良工事における下請負者）：事務所長より表彰 21 件）
（優良工事における下請負者の専任技術者）：事務所長より表彰 18 名）
（工事成績優秀企業）：8 社）

優良工事等局長表彰及び工事成績優秀企業は本日（平成 25 年 7 月 17 日）

「平成 25 年度北陸地方整備局国土交通事業関係功労者等表彰式」において授与し、優良工事等事務所長表彰等は各事務所等において別途授与を行います。

同時資料配布記者クラブ

管内各県記者クラブ

（問い合わせ先）

国土交通省北陸地方整備局 Tel.025-280-8880

企画部

工物品質調整官 佐々木 健一（内線3130）

技術管理課長 山岸 達也（内線3311）

港湾空港部

港湾空港整備・補償課長 小笠原 昭（内線6291）

優良工事等の表彰について

1 目的

優良工事等の表彰は、北陸地方整備局所管の工事等に関し、その施工及び成果が優秀であって、他の模範となるものを選定し表彰することにより、良質な社会資本整備を目指すとともに、建設技術の向上と事業の推進に資することを目的としています。

この中で、特に優秀なものを局長表彰、優秀なものを事務所長表彰としています。

また、優良工事（局長表彰、事務所長表彰）に選定された工事において、下請負者等も当該工事の施工に貢献した企業として表彰しています。

2 平成25年度の選定数

平成24年度に完成した工事等の中から、下記のとおり選定しました。

区 分	選 定 数	備 考
優良工事	局長表彰 22件 事務所長表彰 32件	完成工事全数 909件
優良委託業務	局長表彰 11件 事務所長表彰 23件	完成業務全数 1,098件
優良建設技術者（工事）	局長表彰 11名 事務所長表彰 11名	監理技術者等
優良建設技術者（委託業務）	局長表彰 11名 事務所長表彰 15名	管理技術者等
優良工事における下請負者	事務所長より表彰 21件	優良工事に選定された工事において、元請負業者の推薦により選定
優良工事における下請負者の専任技術者	事務所長より表彰 18名	

※事務所長、下請負者等表彰式は、別途各事務所等で実施します。

3 選定要件

工 事 等： 安全管理、工程管理並びに、出来形及び品質、出来ばえ等の施工管理が優秀であり、さらに、創意工夫、コスト縮減、リサイクル等に積極的に取り組むなど、他の模範となるもの。

委託業務等： 業務目的を十分理解のうえ、調査・解析等の専門技術力、工程・品質等の管理技術力に優れ、的確な成果の取りまとめを行うとともに、課題解決に向けた積極的な取り組みがみられるなど、他の模範となるもの。

下請負者等： 専門的な技術を取得した技能労働者を抱えた下請負者であり、専門技術の維持、向上に貢献しているもの。

4 表彰結果の活用

表彰結果は、入札契約等における総合評価落札方式の企業評価資料として活用します。

平成24年度完成 優良工事等一覧表

目 次

優良工事一覧表	1
優良工事〔局長表彰〕選定理由表	4
優良委託業務一覧表	26
優良委託業務〔局長表彰〕選定理由表	28
優良建設技術者（工事）一覧表	34
優良建設技術者（工事）〔局長表彰〕選定理由表	36
優良建設技術者（委託業務）一覧表	47
優良建設技術者（委託業務）〔局長表彰〕選定理由表	49
優良工事における下請負者一覧表	55
優良工事における下請負者の専任技術者一覧表	56

選定結果

優良工事（局長表彰） 全22件

	受注者名	工事名	事務所名
1	石黒建設株式会社	H24 多枝原谷第28号砂防堰堤工事	立山砂防事務所
2	株式会社伊藤組	阿賀野川濁川（上）堤防耐震対策工事	阿賀野川河川事務所
3	射水工業株式会社	内川樋管継足及び護岸工事	富山河川国道事務所
4	内山・高建経常建設共同企業体	日東道地吹雪対策その2工事	羽越河川国道事務所
5	株式会社江口組	手取川岩内地区急流河川対策その3工事	金沢河川国道事務所
6	株式会社笠原建設	能生大橋架替下部その3工事	高田河川国道事務所
7	川中島建設株式会社	綱島護岸災害復旧その3工事	千曲川河川事務所
8	北川ヒューテック株式会社	能越道 七尾舗装その1工事	金沢河川国道事務所
9	小杉土建工業株式会社	小出維持出張所管内防災対策工事	長岡国道事務所
10	株式会社後藤組	筒石函渠工事	高田河川国道事務所
11	株式会社相模組	浦川下流第1号砂防堰堤補強その2工事	松本砂防事務所
12	株式会社佐藤渡辺 北陸支店	国道8号本郷（下り）電線共同溝工事	富山河川国道事務所
13	株式会社竹花組	上野原第3号砂防堰堤工事	湯沢砂防事務所
14	鉄建建設株式会社 名古屋支店	能越道 黒崎川橋上部工事	金沢河川国道事務所
15	株式会社富樫組	奥ノ院砂防堰堤工事	飯豊山系砂防事務所
16	株式会社福田組	大河津可動堰改築右岸上流護岸他工事	信濃川河川事務所
17	福田道路株式会社 新潟本店	揚川改良 小花地・黒岩地区舗装工事	新潟国道事務所
18	株式会社本間組	下新川海岸生地有脚式離岸堤工事	黒部河川事務所
19	松本建設株式会社	坂又川排水樋門新設工事	富山河川国道事務所
20	丸運建設株式会社	水原管内維持工事	新潟国道事務所
21	株式会社森下組	平成24年度湯沢工区除雪作業	長岡国道事務所
22	若築建設株式会社 北陸支店	新潟港（西港地区）第二西防波堤築造工事（その2）	新潟港湾・空港整備事務所

※50音順

選定結果

優良工事（事務所長表彰） 全32件

	受注者名	工事名	事務所名
1	穴澤建設株式会社	只見川窪倉前他2箇所災害復旧受託工事	阿賀川河川事務所
2	石川建設工業株式会社	金沢管内道路維持工事	金沢河川国道事務所
3	株式会社植木組 柏崎支店	国道116号出雲崎町外舗装修繕工事	長岡国道事務所
4	株式会社大島組	南田屋新田堤防強化対策工事	高田河川国道事務所
5	大高建設株式会社	越湖有脚式離岸堤ブロック製作その1工事	黒部河川事務所
6	株式會社岡部	貝塩山腹工その2工事	神通川水系砂防事務所
7	小柳建設株式会社	三条出張所管内堤防等維持管理工事	信濃川下流河川事務所
8	加賀建設株式会社	金沢港（大野地区）防波堤（西）（改良）築造外1件工事	金沢港湾・空港整備事務所
9	鹿島道路株式会社 北陸支店	揚川改良 西地区舗装工事	新潟国道事務所
10	川瀬建設株式会社	金原砂防堰堤魚道工工事	松本砂防事務所
11	株式会社小池組	海老江河道掘削工事	羽越河川国道事務所
12	五洋建設株式会社 北陸支店	国道49号 揚川改良新揚川トンネル工事	新潟国道事務所
13	酒井工業株式会社	H23三日市高架橋他橋梁補修工事	金沢河川国道事務所
14	笹嶋工業株式会社	能越道 中波地盤改良その4工事	富山河川国道事務所
15	世紀東急工業株式会社 北陸支店	金沢東環 東長江・鈴見舗装工事	金沢河川国道事務所
16	株式会社種村建設	高平沢第1号砂防堰堤災害関連緊急工事	湯沢砂防事務所
17	株式会社中越興業	新潟県警察機動隊（11）宿舎棟建築工事	営繕部
18	中越興業株式会社	能越道 中田道路その2工事	富山河川国道事務所
19	東洋・不動テトラ特定建設工事共同企業体	敦賀港（鞠山北地区）防波堤基礎工事（その2）	敦賀港湾事務所
20	道路技術サービス株式会社	H24高岡管内構造物整備工事	富山河川国道事務所
21	砺波工業株式会社	伏木富山港（新湊地区）道路（東西線）付属物設置工事	伏木富山港湾事務所
22	株式会社新潟造園土木	H24野生ゾーン他修景工事	国営越後丘陵公園事務所
23	日瀝道路株式会社 新潟営業所	長岡維持出張所管内防災対策工事	長岡国道事務所
24	株式会社NIIPPO 北信越支店	新潟管内構造物補修工事	新潟国道事務所
25	株式会社林土木	H24 砂防軌道落石対策（津之浦工区）工事	立山砂防事務所
26	株式会社廣瀬	信濃川下流堤防法面災害復旧その2工事	信濃川下流河川事務所

※50音順

選定結果



優良工事（事務所長表彰） 全32件



	受注者名	工事名	事務所名
27	株式会社婦中興業	島田友杉築堤護岸工事	富山河川国道事務所
28	株式会社北條組	田上築堤その2工事	千曲川河川事務所
29	株式会社保坂組	中郷大橋耐震補強工事	高田河川国道事務所
30	町田建設株式会社	平成24年度長岡国道事務所管内斜面雪処理作業	長岡国道事務所
31	株式会社皆川組	阿賀野川左岸松浜町堤防耐震対策その2工事	阿賀野川河川事務所
32	株式会社吉田建設	大河津可動堰改築右岸管理橋下部その1工事	信濃川河川事務所

※50音順





受注者	石黒建設株式会社	事務所名	立山砂防事務所
	取締役社長 齋藤 孝夫	工期	平成24年3月13日 ～ 平成24年11月2日
	福井県福井市西開発3丁目301番地1	請負金額	143,220千円
工事名	H24 多枝原谷第28号砂防堰堤工事	工事場所	富山県富山市有峰地先
工事内容	掘削工:11,200 ^m ₃ 、土砂等運搬:11,200 ^m ₃ 、転石破壊:660 ^m ₃ 、盛土及埋戻工:2,700 ^m ₃ 、地盤改良工:1式、コンクリートえん堤工(コンクリート工:2,049 ^m ₃ 、INSEM工:1,790 ^m ₃)、仮設工:1式		
選定理由	<p>本工事は、安政の飛越大地震跡である「大鷲崩れ」から直接流下する多枝原谷での、土石流対策を目的とした砂防堰堤工事である。施工箇所は、脆弱な崩壊堆積物が多量に堆積しており、少量の降雨でも土石流の発生が危惧される非常に危険な状況下であった。工期も6月から10月末と限られ、特に施工初期は現河床との高低差が7m以上となる掘削・床掘を行い、さらに上流部の視認性が悪い中、本体下部もINSEM工法と土工主体で車両台数も多い状況での施工であった。そのため大型重機の導入やRIによる密度管理等の創意工夫を図り、直上流で他堰堤工事があったにも係わらず、工程調整を密に実施するとともに、品質・作業効率の向上によって、無事故で余裕を持って工期内に完成させた。</p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>完成写真</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>INSEM施工状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>コンクリート打設状況</p> </div> </div>			

受注者	株式会社 伊藤組	事務所名	阿賀野川河川事務所
	代表取締役 伊藤 隆雄	工期	平成24年3月8日 ～ 平成25年1月31日
	新潟県新発田市島潟1273番地1	請負金額	261,135千円
工事名	阿賀野川濁川(上)堤防耐震対策工事	工事場所	新潟県新潟市北区濁川地先
工事内容	(河川土工)掘削工3,900m ³ 、盛土工3,100m ³ 、法面整形工1,100m ² (地盤改良工)静的締固砂杭工(ドレーン1.7m+砂杭8.9m、10.5m)303本 (矢板護岸工)広幅鋼矢板(Ⅲw型、25H型、L=14.5m、16m)335枚、浸透対策工1式、笠コンクリート26m (法覆護岸工)植生工6,740m ² 、ドレーン工1式、付帯道路工1式 (仮設工) 工事用道路工1式		
選定理由	本工事は、全国防災対策河川事業の堤防耐震・液状化対策として、阿賀野川河口部右岸3.2k付近を延長280mに渡り川表堤防法尻に砂杭、川裏堤防法尻に鋼矢板を施工した工事である。鋼矢板施工箇所に近接して三菱ガス送水管、送電線があったが、防護工、埋設物の明示を分かりやすく行い安全面で万全を期した。また、工事区間上流部は家屋連担部があったが、市道の清掃、地元の祭りに参加するなど地域貢献及び地元と積極的にコミュニケーションを図った。施工区間川表側は、新潟市が占有する公園となっていたが、第三者との離隔措置、周辺環境に配慮した仮設備を行いイメージアップを積極的に図った。その他、事業の説明性向上面でも各種取り組みを行い、地元高校の土木科生徒を対象とした工事見学会を行うなど、地域に公共事業に対する好印象を与えたほか、建設業の若手育成に寄与した。		
			
鋼矢板圧入状況		砂杭施工状況	

受注者	射水工業 株式会社	事務所名	富山河川国道事務所
	代表取締役 吉田 寛之	工期	平成23年9月27日 ～ 平成24年 5月15日
	富山県射水市二口2487番地の1	請負金額	193,305千円
工事名	内川樋管継足及び護岸工事	工事場所	富山県射水市港町地先
工事内容	河川土工 1式、地盤改良工（固結工）431本、樋門・樋管本体内工 1式、護岸工 1式 護床工 1式、水門設備工 1式、矢板工 1式、鋼管矢板 1式、タイロッド 1式 仮設工 1式、構造物撤去工 1式		
選定理由	<p>本工事は、庄川右岸の河口部における築堤工事(堤防補強)に伴い既設内川取水樋管の継足と導水路の一部を整備する工事である。</p> <p>施工箇所は、堤内側住宅密集地への騒音・振動対策、波打ち際での施工における河川・海洋双方の安全対策など、狭い施工範囲で他工事と運搬路や施工範囲を輻輳しながら、地域住民の要望である短期間での通水を必要とした大変厳しい条件での施工であったが、これらに対して地盤改良に自走式架台を提案したり鋼管矢板の現場継ぎ施工を工場で実施する等の提案をして施工性の向上を図るなど工程や施工精度向上の工夫はもとより、騒音・振動対策・安全対策・出来形・品質の向上にも積極的に工夫して取り組む事で、高品質な構造物を施工した。また、他工事との輻輳作業も積極的に連携と調整をはかり短期間での通水を遵守して無事故で工事を完成させた。</p>		
完成	  <p>自走式架台による地盤改良状況</p>		

受注者	内山・高建経常建設共同企業体	事務所名	羽越河川国道事務所
	株式会社内山組 代表取締役 奥村 享	工期	平成23年11月1日 ～ 平成24年11月20日
	新潟県村上市肴町18番12号	請負金額	121,590千円
工事名	日東道地吹雪対策その2工事	工事場所	新潟県村上市金屋地先
工事内容	<p>本工事は、日本海沿岸東北自動車道(直轄高速道、日東道)における維持修繕工事 で、道路土工、擁壁工、函渠工、遮水シート工等を施工した工事である。</p> <p>路体・路床盛土 V=3,000m³ 補強土壁工 L=93m、A=385m² 場所打函渠工 1箇所、L=10m 遮水シート敷設 A=3,260m²</p>		
選定理由	<p>本工事は供用中の高速道路の拡幅工事で、供用中の市道横断函渠の延伸や補 強土壁等を施工した。施工箇所は季節風や地吹雪が激しい現道脇での作業で あったが、資材や仮囲い等の飛散防止に万全を期した他、隣接する関連他工事と の施工調整も主体的に行い、事業箇所全体の円滑な施工に寄与した。また市道 等の通行止めの際には、関係機関や地元との調整も適切に行いトラブル防止に 努めた。函渠コンクリートの施工においては、養生で霧発生装置を使用したり内部 温度と外気温を測定し温度応力によるひびわれを防止する等、新技術の活用や創 意工夫を積極的に行い、コンクリートの品質向上に優れた技術力を発揮した。また 適切な施工管理がなされ、出来形、出来映えも優れていた。</p>		
			
(函渠施工の雪寒仮囲い)		(函渠完成全景)	





受注者	株式会社 江口組	事務所名	金沢河川国道事務所
	代表取締役 江口 介一	工期	平成24年3月23日 ～ 平成25年3月21日
	石川県小松市殿町2丁目66番地	請負金額	171,412.5千円
工事名	手取川岩内地区急流河川対策その3工事	工事場所	石川県能美市岩内地先
工事内容	<p>河川土工 掘削工39,800m³、前腹付盛土34,600m³(岩内地区7,600m³ 下清水地区27,000m³) 法覆工(岩内) 巨石張800m² 光ファイバーセンサー設置工 浸食センサー 1,510m(3測線)、光ケーブル配管配線 926m 光通信設備(機器) 1式</p>		
選定理由	<p>本工事は、一級河川系手取川において、洪水時の流下能力向上を目的とした河床掘削と合わせて、採取土を転用し、岩内及び下清水地区に急流河川対策として前腹付け盛土を施工する工事である。</p> <p>河床掘削はアユやサケの魚類等の生態系にも配慮し、6月15日～11月末までを作業休止期間とし、河床掘削を行う際には現況の中州を活用し、事前に瀬替えを行い、下流への汚染水の流出を防止し、地元の「スベリ漁(シロウオ)」に配慮を行った。</p> <p>一方、河床掘削箇所では、サケの回帰率調査が実施されるため、調査精度の向上を図るため工事の瀬替え時期や設置位置について、関係者と調整を図りながら対応するなど、地域貢献や創意工夫により、無事故で工事を完了させ、出来形・出来映えとも良好であった。</p>		
			

受注者	株式会社 笠原建設	事務所名	高田河川国道事務所
	代表取締役 鈴木 秀城	工期	平成23年9月13日 ～ 平成24年6月22日
	新潟県糸魚川市大字能生1155-6	請負金額	216,090千円
工事名	能生大橋架替下部その3工事	工事場所	新潟県糸魚川市能生地先
工事内容	<p>本工事は糸魚川地区橋梁架替事業として、一般国道8号旧能生大橋の上部工及び橋台撤去並びに新橋のA1橋台を施工する工事である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋台躯体工(新A1橋台) ・上部工撤去工(旧A1～旧P2間 2径間) ・下部工撤去工(旧A1橋台) ・名立大町応急復旧 他 		
選定理由	<p>当該工事は、能生川での施工となるため、サケの遡上に影響のある期間は瀬替設置を調整しなければならず、工程管理に配慮が必要であった。そのため、上部工撤去後のコンクリートを大型ブレーカーの取壊しから、ワイヤーソーイング工法に変更したことで工程が早まり、当該工事工程が影響する既発注の能生大橋架替その4工事(P1、P2橋脚施工)ともに工期内に工事を完成させた。</p> <p>また、平成23年11月22日上越市名立大町で発生した海岸擁壁倒壊災害について、ブロック投入のための作業構台の設置を行い、終日片側交互通行を余儀なくされた国道8号の応急復旧に貢献した。</p>		
 <p>【能生大橋A1橋台】</p>		(工事前)	 <p>【名立大町応急復旧】</p>
		(完成後)	



受注者	川中島建設株式会社	事務所名	千曲川河川事務所
	代表取締役 加藤 智久	工期	平成24年2月15日 ～ 平成25年3月27日
	長野県長野市篠ノ井布施高田955番地 3	請負金額	147,725千円
工事名	綱島護岸災害復旧その3工事	工事場所	長野県長野市綱島地先
工事内容	河川土工4, 300m ³ 、プレキャスト基礎101m、大型ブロック張936m ² 、練石張634m ² 、根固めブロック製作据付272m ² 、巨石水制1基		
選定理由	<p>本工事は、長野市綱島地先において平成24年5月出水により河岸欠損を受けた災害復旧で、大型ブロック張、練石張などの護岸や巨石水制を施工する工事である。</p> <p>当該施工箇所は、隣接する他工事との調整が必要であったことから、綱島護岸工事連絡会議の会長を務め（統括安全衛生管理義務者に指名）、調整や地域からの現場視察などの窓口としても積極的に対応した。</p> <p>巨石水制、練石張の施工にあたっては、先進地調査や選石交渉などを行い、社内でも検討会議を開催するなど品質及び出来形の確保に努めた。</p> <p>また、当該箇所堤内地は住宅密集地であり、地域住民の工事に対する関心が高くトラブルもなく無事故で完成させた。</p>		
			

受注者	北川ヒューテック株式会社	事務所名	金沢河川国道事務所
	常務取締役 坂本 要二	工期	平成24年8月29日 ～ 平成25年3月29日
	石川県金沢市神田1丁目13番1号	請負金額	553,875千円
工事名	能越道 七尾舗装その1工事	工事場所	石川県七尾市矢田町～佐々波町地先
工事内容	<ul style="list-style-type: none"> ・アスファルト舗装(一般部) A=28,609m² 排水構造物工 1式 ・橋面舗装 5橋 A=3,274m² 防護柵工 L=3,843m ・路床盛土工 V=6,000m³ 立入防止柵 L=471m ・路床安定処理工 A=7,770m² 情報ボックス工 1式 ・踏掛版工 5橋 道路付属施設工 1式 ・道路土工(掘削、路体・路床盛土) 1式 		
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、国道470号七尾氷見道路事業にて延長5.6kmの舗装及び道路付属施設を設置する工事である。 ・供用を鑑み工期短縮が求められる中、他工事の通路を確保しつつ舗装工事区間を分割して行うなど、事業全体の工程に配慮した工程管理を実施した。 ・冬期間においても品質を確保するため、ロードヒーター車を用いて基層面加熱を実施した。その他、保温シートを二重にしアスファルト混合物の温度低下低減対策を実施し、良好な締め固め及び品質監理を実施している。 ・舗装の平坦性を確保するため、平坦性チェックリストを作成し、随時チェックを行うとともに、舗設時の施工温度を作業員に徹底周知を図りながら工事を進め、平坦性は1.0mm以下となった。 ・また、七尾氷見道路工事関係者連絡協議会の中で、安全管理活動における情報発信を行うなど工区間の調整を円滑に行った。また地元見学会に積極的に協力し、地域とコミュニケーションを図りながら工事を進め、事業の円滑な遂行に寄与した。 		
			
<p style="text-align: center;"> 全景 (麻生地先にて 富山側を望む) 全景 (佐々波地先にて 七尾側を望む) 全景 (麻生第1高架橋にて 七尾側を望む) </p>			


受注者	小杉土建工業株式会社	事務所名	長岡国道事務所	
	代表取締役 小杉 尚志	工期	平成24年3月6日 ～ 平成25年3月29日	
	新潟県小千谷市東栄3丁目4番5号	請負金額	146,580千円	
工事名	小出維持出張所管内防災対策工事	工事場所	小出維持出張所管内	
工事内容	ちぢみの里斜面对策工 1式 ひ生盛土対策工 1式 和南津橋右岸護岸補修工 1式 四十日横断函渠改修工 1式	田戸斜面对策工 1式 小千谷大橋左岸護岸復旧工 1式 みち位置情報標示工 1式		
選定理由	<p>本工事は、小出維持出張所管内における防災を目的とした道路施設の新設及び補修工事である。</p> <p>施工にあたっては、現場条件が国道上、法面、河川近接等多様であったことから、それぞれの現場条件に適した安全対策のもと施工を行い無事故で工事を完成させた。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>田戸斜面对策工 (雪崩予防柵工、法枠工等)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>和南津橋右岸護岸補修工 (ブロック積工、法面工等)</p> </div> </div>				


受注者	株式会社 後藤組	事務所名	高田河川国道事務所
	代表取締役 後藤 幸洋	工期	平成24年3月9日 ～ 平成25年3月29日
	新潟県糸魚川市上刈6丁目1番18号	請負金額	211,155千円
工事名	筒石函渠工事	工事場所	新潟県糸魚川市筒石地先
工事内容	<p>本工事は塩害による損傷が著しい橋梁事業である糸魚川地区橋梁架替事業として、一般国道8号筒石橋東詰の1径間について、橋下にボックスカルバートを施工し橋梁上部工の耐久性、対応年数の向上を図る工事である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カルバート工(鉄筋工、コンクリート打設、型枠工) ・P1橋梁補修工(ひび割れ注入、ASR補修、炭素繊維巻立、含浸材塗布) ・地盤改良工(セメント改良土による敷均し、転圧) ・舗装工(国道8号、市道) 他 		
選定理由	<p>工事箇所は、近接して家屋があり、周辺環境への悪影響防止に十分な注意を払う必要があった。また、カルバートの施工にあたり橋梁桁下における鉄筋組立作業時のクレーン作業空間が取れないため、市道及び駐車場の一部を鉄筋組立ヤードとしての利用での施工となった。これらの対策として、筒石地区の住民との折衝調整を円滑に進め、夜間作業や休日作業を控えることで、トラブルもなく工事を完成させた。</p> <p>また、カルバート工の引き込みについても、移動式型枠支保工により行い、レールの固定方法を完全固定部1列、微可動部10列でレールを設置することで、移動位置の誤差を無くし、また、頂版鉄筋が変形しないよう角材による補強やワイヤーによる緊張を行うなど、スムーズに引き込みが完了できた。</p>		
 <p>【鉄筋組立完了】</p>		 <p>【引き込み完了】</p>	
 <p>【完成】</p>		 <p>【完成】</p>	

受注者	株式会社 相模組	事務所名	松本砂防事務所
	代表取締役 相模 一男	工期	平成24年2月23日 ～ 平成24年12月21日
	長野県大町市大町3052	請負金額	185,692.5千円
工事名	浦川下流第1号砂防堰堤補強その2工事	工事場所	長野県北安曇郡小谷村北小谷地先
工事内容	<p>作業土工(床掘り 6,600m³、埋戻し 750m³) コンクリート堰堤本体工(コンクリート 3,455m³、型枠ブロック 442個、残存型枠 131m²) 構造物取壊し工(根固めブロック撤去 282個) 迂回路工 一式</p>		
選定理由	<p>本工事は、浦川上流域の金山沢、唐松沢の合流下約1キロに位置する浦川下流第1号砂防堰堤の上流に型枠ブロックを用いた砂防堰堤を構築する2期目の工事である。</p> <p>当工事箇所は、日本有数の荒廃渓流である浦川上流域であり、資材運搬路は狭隘な生活観光道路を利用しなければならなかった。受注者は、これらの現場条件下で、環境への配慮・土石流対策・早出打設によるコンクリートの品質向上と他現場との打設重複を避ける打設計画など、環境・安全及び品質の対策に積極的に取り組み、無事故で工事を完成させた。</p>		
			
施工箇所全景		型枠ブロックを用いたコンクリート打設状況	

受注者	株式会社佐藤渡辺北陸支店	事務所名	富山河川国道事務所
	支店長 川口 雅弘	工期	平成24年2月22日 ～ 平成25年3月27日
	富山県富山市婦中町上轡田431-1	請負金額	123,375千円
工事名	国道8号本郷(下り)電線共同溝工事	工事場所	富山県高岡市本郷地先
工事内容	電線共同溝 L=190m 電線共同溝工 1式、付帯設備工 1式、舗装工 1式、 排水構造物工 1式、防護柵工 1式、道路附属物設置工 1式		
選定理由	<p>本工事は、国道8号下り高岡市本郷地先における電線共同溝工事である。施工箇所は国道沿いの開発が進み沿道には商店が連亘する中心市街地であり、交通量、歩行者も多い区間である。このため、通行車両や歩行者への安全対策が重要な工事であった。</p> <p>また、既設の占用物件が多数存在することから限定された空間における施工と占用物件の支障移転を平行して行うことが必須であり、かつ同種工事が連続した区間で進められていることから、工事の安全対策や円滑な進捗には的確な工程調整・管理が必要な工事であった。</p> <p>受注者は、関係機関や沿道関係者、多様な占有者との調整を積極的に行い、的確な工程管理を行い、工事の迅速化や規制期間の短縮化に努め、また、車両や歩行者等の事故回避や架空線や地下埋設物件の損傷事故回避のための工夫を重ね、無事故で工事を終えた。</p> <p>また小学生を対象とした見学会を開催することで地域とのコミュニケーションを図るとともに、見学会がマスコミに大きく取り上げられ、社会資本整備に関する広く一般の理解を深める一助となった。</p>		
			
完成写真		飛散防止シート使用状況	

受注者	株式会社 竹花組	事務所名	湯沢砂防事務所
	代表取締役社長 矢野 健太郎	工期	平成24年7月5日 ～ 平成25年1月22日
	長野県佐久市望月30番地1	請負金額	92,137.5千円
工事名	上野原第3号砂防堰堤工事	工事場所	長野県下水内郡栄村大字上野原地先
工事内容	砂防土工 1式 コンクリート堰堤工 1式 副堤工 コンクリート 1,421m ³ 側壁工 コンクリート 215m ³ 水叩工 コンクリート 496m ³ 深掘対策工 1式 仮設工 1式		
選定理由	<p>本工事は信濃川水系中津川右支川の析川における砂防堰堤工事である。当該現場は標高800mを超える豪雪地帯で降雪期が早く施工期間が制約されると共に土石流の危険がある厳しい現場であり、工事期間中には台風17号による豪雨で約3,300m³の土砂が現場内に流入・堆積による手戻りが発生した。このような厳しい現場条件の中で本工事の受注者はセンサーの設置等基本に則った対策を実施し工事の安全に万全を期するとともに、早期復旧と積極的な工程のフォローアップを実施し厳冬期となる前の12月中に無事故で良質な構造物を完成させ優秀な成績を収めた。</p>		
	<div data-bbox="405 1267 1182 1845" data-label="Image"> <p>完成写真 右岸から左岸を望む</p> </div>		


受注者	鉄建建設株式会社 名古屋支店	事務所名	金沢河川国道事務所
	名古屋支店 執行役員支店長 山本 孝栄	工期	平成23年10月4日 ～ 平成24年11月30日
	愛知県名古屋市中村区名駅一丁目1番 4号	請負金額	646,254千円
工事名	能越道黒崎川橋上部工事	工事場所	石川県七尾市黒崎町地先
工事内容	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁上部工－PC3径間連続ラーメン箱桁橋（橋長168m） ・橋梁付属物工（伸縮装置工、落橋防止装置工、排水装置工、壁高欄工、情報管路工） ・架設工法－張り出し架設工法 		
選定理由	<p>・本工事は、国道470号七尾氷見道路事業にて計画している黒崎川橋の上部工事（PC3径間連続ラーメン箱桁橋（橋長168m））である。</p> <p>本工事箇所は、高所かつ河川直上であり、上部工の架設に際して移動作業車（ワーゲン）の下段作業台を地上近くで組み立て、電動チェーンブロックでリフトアップする提案を行い、高所作業における災害の回避にを努め、安全性の高い施工を行っている。</p> <p>酷暑期のグラウト練り混ぜ温度確保のため、新技術を採用し、水温を一定に保つことでもグラウトの品質を確保している。</p> <p>また、黒崎川に対しての影響低減のため、移動作業車（ワーゲン）に防水処理や濁水処理設備を設置し排水の監視を併せて行ったり、地元小学生によるお絵かきイベントや避難訓練の開催、及び地元と道路清掃や草刈り活動を定期的実施しており、感謝状をいただいている。</p>		
 			
<p>全景</p>			
 			
<p>架設状況（張り出し工法）</p> <p>小学生現場説明会状況</p>			

受注者	株式会社 富樫組	事務所名	飯豊山系砂防事務所
	代表取締役 富樫 重晴	工期	平成24年3月10日 ～ 平成25年3月25日
	新潟県村上市仲間町一枚下り639番地 11	請負金額	117,495千円
工事名	奥ノ院砂防堰堤工事	工事場所	新潟県新発田市菅谷地先
工事内容	<p>砂防堰堤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本堤(堤長63.3m 堤高6.0m) 垂直壁(壁長47.75m 壁高2.5m) 1)砂防土工1式(掘削3,600m³、埋戻し785m³、コマ型基礎工429m²) 2)コンクリート堰堤工1式(本体1,660m³、垂直壁284m³、側壁71m³、水叩110m³) 3)砂防えん堤付属物設置工1式(境界工一式、銘板工一式、点検施設工一式) 4)仮設工1式(工事用道路工一式、仮水路工一式、暗渠排水工一式、地下排水工一式) 		
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は土石流危険渓流の加治川水系奥ノ院沢における砂防堰堤工事である。 ・施工箇所の河床部は腐植土層が1.2mと厚く堆積し、地下水位も高く軟弱地盤箇所である。また下流集落では井戸水を生活用水としている家庭が多数あり、施工にあたっての工夫として、暗渠排水による地下水の排除及び簡易井戸ポンプ排水による地下水の低下対策を実施し、下流集落の井戸利用に影響を与えることなく、安全に工事を実施した。 ・施工施設の基礎構造は当初、採石置換工となっていたが、地下水位が高く、土質も軟弱で施工は難しい状況にあることから、掘削深さを浅くするため、砂防堰堤の基礎工法としては初のトップベース工法(コマ型基礎工法)を活用することとなった。新工法の施工にあたっては、慎重な締め固めと沈下計測等、施工管理を的確に行うなど、効果的な基礎処理により砂防堰堤を完成させた。 ・寒中コンクリートの養生温度管理にデータロガーを使用し、リアルタイムに外気温度、仮囲い内温度、コンクリート内部温度を測定管理したことで、凍害やクラックが発生することなく工事を実施した。 ・本工事は、厳しい現場条件の中、適切な工程管理、施工管理の工夫のもと新工法に取り組み、また集落の生活用水に支障もなく、出来高、品質とも優れた施工を行った。 		
			


受注者	株式会社 福田組	事務所名	信濃川河川事務所
	代表取締役 太田 豊彦	工期	平成23年7月21日 ～ 平成25年3月19日
	新潟市中央区一番堀通3番地10	請負金額	729,750千円
工事名	大河津可動堰改築右岸上流護岸他工事	工事場所	新潟県燕市五千石地先
工事内容	高水敷造成盛土 60,900m ³ 、矢板護岸(二重タイプ) 271m、中詰土盛土 11,100m ³ 、高水敷保護工 8,861m ² 、粗朶沈床 1,498m ² 、根固ブロック(4t) 241個、旧可動堰撤去 1式		
選定理由	<p>本工事は、大河津可動堰改築事業に伴う右岸上流護岸及び高水敷造成を施工するほか、役割を果たした旧可動堰の解体撤去等を行う工事である。</p> <p>施工では、高水深部での水中盛土となる仮締切設置の他、支障物を撤去しながら出水期までに護岸矢板の打設を完了させなければならず、自然条件並びに工程上で厳しい工事であった。</p> <p>そのような中で、河川水の浸透を少なくするための締切施工での工夫やウェブカメラ・GNSS等の情報機器を活用した護岸・盛土での施工管理の実施など、現場に則した技術的検討を行いながら、品質の向上に努め、安全に余裕をもって工事を完成させた。</p> <p>あわせて、旧可動堰の撤去では、騒音振動に留意した施工を行うなど周辺環境に配慮するとともに、撤去した発生材を旧堰の高水敷保護工に再利用するなどの提案を行い、リサイクルの推進とあわせて、旧可動堰の面影が残る景観に配慮した整備を行った。</p> <p>また、現場見学者等に対しては「見晴らし台」を設置するなどの工夫を行ったほか、旧可動堰の撤去作業の着手に先立って「旧可動堰撤去式」を事務所・期成同盟会・関係NPO法人等と連携して開催するなど、地域とのコミュニケーションを重視して施工を行った。</p>		
 			

受注者	福田道路株式会社 新潟本店	事務所名	新潟国道事務所
	執行役員本店長 小林 鶴雄	工期	平成24年3月8日 ～ 平成25年3月29日
	新潟県新潟市中央区川岸町一丁目53番地	請負金額	307,755千円
工事名	揚川改良 小花地・黒岩地区舗装工事	工事場所	新潟県東蒲原郡阿賀町小花地・黒岩地先
工事内容	地盤改良工 6,769m ² 排水構造物工 1式 踏掛版工 1式 アスファルト舗装(シックリフト舗装、フルデプス舗装含む) A=15,400m ² 防護柵工(防雪柵含む) 1式 擁壁工 1式 区画線工 1式		
選定理由	<p>本工事は、揚川改良事業に伴う、小花地から黒岩地区間(L=3,960m)の舗装新設及び付帯工事である。</p> <p>本区間は、バイパス区間と現道2箇所と交差する計3箇所に分散した工区であり、それぞれ隣接する「揚川橋新設工事」と「新揚川トンネル工事」の施工を待って着手できる制約された工事である。</p> <p>厳しい現場条件のもと、現道交差区間においては、交通規制の制約を最小限にするため特殊舗装であるシックリフト舗装及びフルデプス舗装を採用し、早期交通開放を可能にした。また、供用開始に向け隣接する工事と調整を図り、舗装及び多工種に及ぶ付帯工事を工期内に完成させた。</p>		
			
<p>現道とバイパス交差部の施工 (シックリフト舗装)</p>		<p>現道とバイパス交差部の施工 (フルデプス舗装)</p>	

受注者	株式会社 本間組	事務所名	黒部河川事務所
	取締役社長 本間 達郎	工期	平成24年1月19日 ～ 平成24年11月12日
	新潟県新潟市中央区西湊町通三ノ町 3300番地3	請負金額	469,875千円
工事名	下新川海岸生地有脚式離岸堤工事	工事場所	富山県黒部市生地地先
工事内容	<p>本工事は黒部市生地地区の高波対策を目的に、生地沖に有脚式離岸堤を設置する工事である。 (主な作業内容) 鋼管杭打設(46本)、堤体据付(L=100m)、その他(間詰工、電気防食工、付属工 等)</p>		
選定理由	<p>本工事は海上作業が主であるため作業可能時期が限定されており、海象状況にも影響を受けやすく、加えて漁業関係者との打合せにより、堤体ブロックの海上据え付け作業は8月中に完了しなければならなかった。このような、時間制約の中、厳格な工程管理と高精度な出来形管理が必要な工事であった。 さらに、別途発注ブロック製作工事と常に工程調整を図りながらの堤体据付作業であり、密な情報共有と工程調整が必要であった。 このような状況の中、地域、漁業関係者への情報提供や個別調整、また関係機関及び他工事との協議、調整を的確に行いトラブル無く工期内に完成させ、海岸防災を要望していた地域に対しても好印象を与えた。また、各作業段階で随所に創意工夫を取り入れ、施工性及び品質の向上を図った。</p>		
鋼管杭打設状況 		完成(手前が当工事) 	
函体据付状況 			

受注者	松本建設株式会社	事務所名	富山河川国道事務所
	代表取締役社長 松本 誠一	工期	平成24年3月1日 ～ 平成25年3月29日
	富山県砺波市千保297	請負金額	357,840千円
工事名	坂又川排水樋門新設工事	工事場所	富山県小矢部市石王丸地先
工事内容	樋門本体工(H4.0m×B6.7m×L26m×2連)1式 遮水矢板工 308枚 翼壁工19.4m 取付護岸105.8m 上屋工1式 法覆護工 758m ² 大型連接ブロック452m ² 根固工 2t 716個 付帯道路工1式 仮排水路工 1式		
選定理由	<p>本工事は、小矢部川に流入している坂又川の合流点箇所にて、新たに坂又川排水樋門を新設する工事である。新設樋門の完成は、効果を早期に発現させる必要があることから、翌年の3月までに完成させることが必須条件とされていた。</p> <p>このため、出水期も含めた通年施工で工事を行う必要があること、坂又川に仮排水路を設けて施工する必要があること、更には、家屋が工事箇所に隣接していることから事業損失防止対策が必要であること、下請39社及び関連工事との工程調整が必要であることなど、工程管理・出水対応・事業損失防止に対する安全管理、施工方法、施工手順の工夫が随所に求められる施工が難しい現場である。</p> <p>これに対し受注者は、現地の施工条件を踏まえた綿密な施工計画・仮設計画を作り上げ、加えて無理のない工程管理及び安全管理を策定した。これにより、出水を経験したものの、工程のフォローアップにより計画通り施工を進め、事業損失も無く、出来形並びに品質ともに高い構造物を工期内に完成しており、当該受注者の取り組みは他の工事に比べて特に優秀であった。</p>		
			

受注者	丸運建設株式会社	事務所名	新潟国道事務所
	取締役社長 小田 等	工期	平成21年4月1日 ～ 平成25年3月31日
	新潟県新潟市中央区幸西1丁目4番21号	請負金額	651,220.5千円
工事名	水原管内維持工事	工事場所	水原維持出張所管内
工事内容	<p>本工事は、水原維持出張所の管理区間における、1箇所あたりの施工が小規模で点在する構造物、側溝、交通安全施設等の維持修繕工事や緊急的な工事である。また、管理区間の道路巡回を実施し、落下物及び道路損傷、道路施設の異常の発見、不法占用の確認を行い円滑な交通の確保を図るものである。</p> <p>平成23年7月は、新潟福島豪雨により道路決壊陥没の被災を受けた、大牧地区応急復旧工事を施工した。</p>		
選定理由	<p>本維持工事では、平成23年7月の新潟福島豪雨による道路冠水被害を受け、冠水した区間の、土砂撤去及び路面清掃を深夜から開始し翌日昼に交通解放した。</p> <p>その直後、近隣の阿賀町大牧地区において、道路決壊陥没の災害が発生した。直ちに、災害応急復旧対応の準備に入り、大型土のう・袋詰め玉石を作り始め、応急復旧工法が定まった際は、大型土のう積工、配水管設置工・舗装工・コンクリート充填工・鉄筋挿入工・鋼矢板設置工を施工し、通行規制(全面通行止)を行った。</p> <p>また、24時間の施工体制(人員)を確保し、道路決壊陥没から約3日後には、片側交互通行に移行し、引続き24時間施工を進め、11月22日に全線(2車線)解放した。</p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-between;">   </div> <p style="text-align: center;">冠水土砂の撤去状況</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <p data-bbox="311 1668 869 1747">阿賀町大牧地区の道路決壊陥没箇所 (24時間施工により3日で片側通行に移行)</p>  </div>			

受注者	株式会社 森下組	事務所名	長岡国道事務所
	代表取締役 森下 佳憲	工期	平成24年10月10日 ～ 平成25年3月31日
	新潟県南魚沼郡湯沢町神立130番地	請負金額	187,215千円
工事名	平成24年度 湯沢工区除雪作業	工事場所	新潟県南魚沼郡湯沢町貝掛～湯沢町字中島川原地先
工事内容	国道17号の湯沢町貝掛～中島川原間の道路及び歩道の除雪を行う作業		
選定理由	<p>本作業は、全国でも有数の豪雪地域を除雪する作業である。 今冬は例年より早い積雪で、その後何度も大きな寒波があり、例年の倍の高速道路の通行止め等が発生した中で適切な路面管理を実施し、登坂不能車も少ない状況であった。 また、コスト縮減のためロータリーのスイングオーガを活用し中央分離帯の除雪を効率的に処理する方法等を開発するなど創意工夫をもって積極的に取り組んだ。 二居工区や塩沢工区とも連携し工区間応援を実施したり、歩道除雪車の配置見直しを実施、地域とのコミュニケーションにも努め、苦情も例年より少なく、無事故で作業を完了した。</p>		
			
除雪作業状況		中央分離帯のスイングオーガを活用した雪堤処理状況	

受注者	若築建設株式会社 北陸支店	事務所名	新潟港湾・空港整備事務所
	支店長 福山 清隆	工期	平成24年3月27日 ～ 平成24年10月19日
	新潟県新潟市中央区東大通1-2-23	請負金額	402,622千円
工事名	新潟港(西港地区)第二西防波堤築造工事(その2)	工事場所	新潟県新潟市中央区船見町地先
工事内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎工 11.3m ・上部工 23.5m ・消波工 48.7m ・被覆工 8.3m ・嵩上工 293.6m 		
選定理由	<p>本工事は、新潟港(西港地区)港口部の港内静穏度を確保するため、港の外郭を形成する第二西防波堤を築造する工事である。</p> <p>施工箇所は、港口に位置する外海に面した島堤であり、海象条件が厳しいうえ、港内側は佐渡航路及び北海道航路の定期旅客船や大型貨物船、漁船等の船舶が輻輳する航路となっている。</p> <p>このような条件下、嵩上工の型枠設置において、航行船舶による航跡波の影響を受けないよう、起重機船ではなく堤体上でラフテレーンクレーンを用いることで、安全性・施工性の向上を図り、工程の短縮など適切な施工管理を行った。また、上部工、嵩上工のコンクリート打設では暑中のマスコンクリート打設となるため、事前に温度応力解析を行い、保湿養生の方法に十分注意し、ひび割れ防止に努めるなど品質向上に積極的に取り組んだ。</p> <p>さらに、夏期に非常に暑く厳しい堤体上の作業環境に対応し、仮設テント、ミストファン等の休憩施設を設置し熱中症の防止に努めるなど、現場条件に応じた適切な施工計画と施工管理により、所定の工期内に無事故で完成させた。</p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>嵩上工施工状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>消波工乱積状況</p> </div> </div>			

選定結果

優良委託業務（局長表彰） 全11件

	受注者名	業務名	事務所名
1	いであ株式会社 北陸事務所	大河津可動堰周辺施設検討業務	信濃川河川事務所
2	エヌシーイー株式会社	万代島ルート道路詳細設計業務	新潟国道事務所
3	応用地質株式会社 新潟支店	管内自然環境調査業務	飯豊山系砂防事務所
4	開発技建株式会社	平成24年度国道17号湯沢地区他整備方針検討業務	長岡国道事務所
5	株式会社建設環境研究所 新潟支店	平成24年度阿賀野川自然再生計画検討業務	阿賀野川河川事務所
6	株式会社建設技術研究所 北陸支社	平成23年度常願寺川中・下流域堰堤配置計画検討業務	立山砂防事務所
7	阿賀川河川維持管理計画検討業務財団法人 国土技術研究センター・株式会社建設技術 研究所設計共同体	阿賀川河川維持管理計画検討業務	阿賀川河川事務所
8	東京コンサルタンツ株式会社新潟支店	弁天大橋架替予備修正設計業務	高田河川国道事務所
9	日本工営株式会社 新潟支店	新潟港環境影響評価資料作成業務	新潟港湾・空港整備事務所
10	パンフィックコンサルタンツ株式会社 富 山事務所	能越自動車道中波2号跨道橋詳細修正設計他業 務	富山河川国道事務所
11	株式会社パスコ 長野支店	金山沢不安定土塊対策概略検討業務	松本砂防事務所

※50音順

選定結果

優良委託業務（事務所長表彰） 全23件

	受注者名	業務名	事務所名
1	朝日航洋株式会社 北陸空情支社	新潟海岸汀線・詳細地形測量業務	信濃川下流河川事務所
2	アジア航測株式会社 北陸支店	高原川流域自然環境モニタリング調査業務	神通川水系砂防事務所
3	株式会社エコー 北陸事務所	平成24年度黒部川魚類等生息環境調査検討業務	黒部河川事務所
4	株式会社エコロジーサイエンス	信濃川河川環境調査業務	信濃川河川事務所
5	株式会社オリエンタルコンサルタンツ 北陸支店	栗ノ木道路高架橋詳細設計その3業務	新潟国道事務所
6	株式会社キタック	平成24年度大石ダム管理支所下方斜面地すべり調査業務	羽越河川国道事務所
7	株式会社協同測量社	管内用地境界標設置業務	千曲川河川事務所
8	株式会社クリエイトセンター	管内砂防堰堤等予備設計業務	湯沢砂防事務所
9	株式会社建設技術センター	H23金沢東環 御所トンネル（2期線）詳細設計業務	金沢河川国道事務所
10	一般財団法人 港湾空港総合技術センター	新潟港土砂処分場施工方策検討業務	新潟港湾・空港整備事務所
11	株式会社国土開発センター	H24梯川堤防測量設計業務	金沢河川国道事務所
12	一般財団法人砂防・地すべり技術センター	火山災害に対する危機管理計画検討業務	松本砂防事務所
13	一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構	砂防関連情報管理システム改良業務	湯沢砂防事務所
14	大日本コンサルタント株式会社北陸支社	H24富山・高岡管内橋梁補修設計等業務	富山河川国道事務所
15	一般財団法人ダム技術センター	ダム耐震性能照査レベル2地震動調査検討業務	河川部
16	株式会社東京建設コンサルタント北陸支社	平成24年度 洪水予測システム等改良検討業務	富山河川国道事務所
17	中日本航空株式会社 新潟支店	新潟県北地域図化業務	新潟国道事務所
18	株式会社ナカノアイシステム上越支社	国道8号親不知地区数値図化業務	高田河川国道事務所
19	株式会社ナルサワコンサルタント 長岡支店	平成24年度長岡国道事務所用地補償総合技術業務その2	長岡国道事務所
20	株式会社日本海コンサルタント	H24能登地区道路設計外業務	金沢河川国道事務所
21	株式会社日本港湾コンサルタント北陸事務所	新潟港（西港地区）土砂処分場護岸水理模型実験	新潟港湾空港技術調査事務所
22	一般社団法人北陸地域づくり協会	平成24年度 北陸技術事務所建設技術検討業務	北陸技術事務所
23	三井共同建設コンサルタント株式会社北陸事務所	平成24年度神通川魚類生息環境調査検討業務	富山河川国道事務所

※50音順

平成24年度完成 優良委託業務〔局長表彰〕

番号

1

受注者	いであ株式会社北陸事務所	事務所名	信濃川河川事務所
	所長 増子 輝明	業務名	大河津可動堰周辺施設検討業務
	新潟市中央区東大通二丁目5番1号	工期	平成24年12月20日 ～ 平成25年3月29日
		請負金額	22,890千円
選定理由	<p>・本業務は、大河津可動堰の通水後における最新の測量データを基に、大河津可動堰周辺の河道内の状況を把握した上で今後の可動堰周辺の河床変動を予測・評価し、将来に渡って可動堰及び堰周辺の各種施設の機能確保に必要な最適の施設配置及び河道管理の在り方について検討を行うものである。</p> <p>・「非定常準三次元流－平面二次元河床変動解析モデル」の構築等、河床変動予測精度の向上に努め、そのうえで可動堰等周辺の洪水流の流速や流向（低水路の落込み、高水敷への乗り上げ等）等に着目し、対象施設の機能等を勘案した対策工の検討を行い、今後の設計にあたっての方針を整理した。</p>		

平成24年度完成 優良委託業務〔局長表彰〕

番号

2

受注者	エヌシーイー株式会社	事務所名	新潟国道事務所
	代表取締役社長 大平 豊	業務名	万代島ルート道路詳細設計業務
	新潟県新潟市中央区綱川原1丁目4番11号	工期	平成24年8月11日 ～ 平成25年3月26日
		請負金額	112,770千円
選定理由	<p>本業務は、都市計画道路万代島ルート線の、万代橋下流橋の礎ICおよび国道7号栗ノ木道路・紫竹山道路の高架橋を除く、道路・道路付属物詳細設計及び事業に伴い河道付替を行う、一級河川信濃川水系栗ノ木川の護岸・河川構造物詳細設計を実施したものである。</p> <p>業務範囲が広範囲に及び、万代橋下流橋、栗ノ木道路事業、紫竹山道路事業の各3事業ともに道路交通量、交差点特性、地形特性が異なる地点である。</p> <p>各事業における特性を的確に把握し、課題・問題点解決にあたり、積極的に発注者とともに関係機関協議・交渉に参加し、経済的かつ合理的な方法、技術提案を行い業務を計画的に推進した。</p> <p>また、栗ノ木道路事業、紫竹山道路事業の施工ステップ検討にあたっては、日交通量5～7万台を誇る当該区間の現況交通を確保し、かつ、事業用地未買収箇所、ライフライン等、支障物件移転等が複雑に絡み合った状況下で、国道、河川の付け替え、紫竹山インター周辺交通処理を精度高く計画し、今後の施工の際、予測される問題点・課題を明確化し、発注者の短期・中期の事業展開の基礎となる、施工ステップを完成させるなど、事業推進に大きく貢献した。</p>		

平成24年度完成 優良委託業務〔局長表彰〕

番号

3

受注者	応用地質 株式会社 新潟支店	事務所名	飯豊山系砂防事務所
	支店長 大曾根 啓介	業務名	管内自然環境調査業務
	新潟県新潟市東区紫竹7丁目27番35号	工期	平成24年7月11日 ～ 平成25年1月31日
		請負金額	20,317.5 千円
選定理由	<p>本業務は、砂防工事を予定又は完了した箇所について、溪流環境基礎調査及び猛禽類調査を実施し、工事による影響予測及び保全対策を検討するものであるが、調査箇所が管内全域と広域に分布するとともに、調査項目も多岐にわたるものであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 猛禽類調査では、全ての調査箇所ですんばの営巣が当初より予想されたが、すんばの幼鳥は7月下旬には移動能力が高くなり、調査実施が遅れると営巣地の絞り込みが困難になることが予想されたが、迅速に調査計画を策定、現地調査を7月中旬に実施し、良好な成果を得た。また、その他の調査項目についても調査地が広域であり大変であったが、時期を逃さず適切に調査を実施し良好な成果を得た。 ・ 影響予測調査実施方針の検討では、平成3年度～23年度までに実施された自然環境調査で確認された重要な種を抽出し、調査地域間の類似度を求め、重要な種の出現状況や対象地域の物理特性も踏まえ検討を行った結果、各地域の特性に応じ、管内を4調査地域に分類(分割)する成果を得ることが出来た。この成果により今後はそれぞれの地域において効率的かつ的確な調査対象種を抽出することが可能となり、調査の合理化が図られることとなる。 		

平成24年度完成 優良委託業務〔局長表彰〕

番号

4

受注者	開発技建株式会社	事務所名	長岡国道事務所
	代表取締役 寺本 邦一	業務名	平成24年度国道17号湯沢地区他整備方針検討業務
	新潟県新潟市中央区紫竹山7-13-16	工期	平成24年12月18日 ～ 平成25年3月29日
		請負金額	24,885千円
選定理由	<p>本業務は、国道17号(南魚沼湯沢町)及び国道253号(十日町市)において、交通事故や旅行速度低下、災害危険箇所、事前通行規制区間、登坂不能車両発生状況など国道の問題把握及び原因分析を行い、三俣道路、湯沢塩沢道路、十日町道路の整備計画案を検討したものである。</p> <p>検討にあたっては、計画道路は丘陵部を通過することから施工性やコスト縮減、防災性等への配慮が重要であるため、地形・地質面の課題抽出及び航空写真判読等による検討等を行った。また、整備計画案は、地域的な視点から都市交通ネットワークにおける当該道路の機能や整備効果、まちづくり支援などのほか、広域的な視点から物流、緊急輸送道路としての機能等から計画・評価を行った。</p> <p>以上、業務実施にあたり、当該路線の重要性を十分に認識し、防災面や交通機能面など種々の検討、地域との合意形成や事業化に向けた基礎資料のとりまとめ等に積極的に取り組み、高度な技術力により優れた成果を取りまとめた。</p>		

平成24年度完成 優良委託業務〔局長表彰〕

番号

5

受注者	株式会社 建設環境研究所 新潟支店	事務所名	阿賀野川河川事務所
	支店長 難波 政行	業務名	平成24年度阿賀野川自然再生計画検討業務
	新潟県新潟中央区新光町6番地1	工期	平成24年6月8日 ～ 平成25年2月28日
		請負金額	27,562.5千円
選定理由	<p>阿賀野沿川では近年、河床低下が進み滯筋の固定化や水際の二極化、砂礫河原やワンド等水際湿地の減少、樹林化の進行、本支川の連続性の低下など河川環境の劣化が顕在化してきている。</p> <p>このような状況を踏まえ、母なる大河阿賀野川の恵みを受けてはぐくまれてきた自然豊かな流域環境を守り、次世代に引き継ぐため、阿賀野川らしい河川環境、景観の保全、再生を目指した「阿賀野川自然再生計画」を策定することとした。</p> <p>本業務では、「阿賀野川自然再生計画」を策定するにあたり、歴史ある阿賀野川の過去からの環境変遷を密に調べることにより、「滯筋固定による比高差拡大」、「砂礫河原・ワンドの減少」、「樹林化の進行」といった問題点を抽出し、具体的な解決方を提案した。解決方の提案にあたっては、自然営力を活かしたワンド再生及び砂礫河原再生を目標に定め、再生メニューの砂礫河原再生、連続性確保では整備形状を検討し、ワンド等湿地再生では湧水湧出を確認した上で詳細設計を行った。有識者・NPOからなる「阿賀野川自然再生検討会」では論点を明確にした資料作成等実施して、円滑な検討会の運営をすることにより、「拡縮流路による複列砂州の再生」、「地域連携推進」といった新たな見解も取り入れた「阿賀野川自然再生計画」をとりまとめ、新規事業として事業化をするために的確な業務の遂行と高度な技術力を発揮し優れた成果を納めた。</p>		

平成24年度完成 優良委託業務〔局長表彰〕

番号

6

受注者	株式会社 建設技術研究所 北陸支社	事務所名	立山砂防事務所
	支社長 大川 重雄	業務名	平成23年度常願寺川中・下流域堰堤配置計画検討業務
	新潟県新潟市中央区万代4丁目4番27号	工期	平成23年9月13日 ～ 平成24年12月28日
		請負金額	64,995千円
選定理由	<p>本業務は、常願寺川中・下流域に計画中の透過型砂防堰堤について、水理模型実験及び数値計算を実施し、一連の掃流区間に設置されている既設堰堤群の機能を考慮した、もっとも効率的な配置計画を策定するとともに、立山砂防事務所管内における透過型砂防堰堤設計の基本的考え方をとりまとめるものである。</p> <p>業務実施にあたっては①透過型堰堤を連続して配置した場合、境界条件(上流からの流量・土砂流出条件)の整理や、長期的な土砂動態の把握②既往の個別施設を対象に行った水理模型実験結果の問題点の解消③考え方の異なる既往施設の設計方針の統一、等の課題の克服が必要であった。</p> <p>選定のポイントは以下のとおりである。</p> <p>①計画洪水、その他中小洪水等の洪水規模の変化及び長期流況や、土砂供給条件(土砂ハイドロ)の変化を考慮し、一次元河床変動計算と水理模型実験それぞれの長所を生かした適切かつ効率的な実験計画を立案した。</p> <p>②既往の水理模型実験では縮尺に伴う細粒土砂が再現できないことや、計画流出土砂量が流砂能力量よりも膨大であることを踏まえ、一次元河床変動計算による粒度分布や洪水波形の精査、模型の分割、途中の小支溪や溪岸から土砂供給する等、最も現象が再現できる実験計画を立案した。</p> <p>③既往の検討結果と今回の結果から、流量や流入土砂量とスリット形状(幅、高さ、位置、本数)の関係や、連続する場合の間隔や留意事項等を取りまとめ、掃流域の透過型砂防堰堤の設計手法を立案した。</p> <p>この他、本業務の実施にあたっては所内検討会で広く意見聴取し、これを反映することで実用性の高い成果をとりまとめた。</p> <p>以上のとおり、高度な技術力と緻密な分析力で独創的かつ高度な提案を行うとともに、業務の進行段階において、分かりやすい資料を作成し、進捗状況の確認と新たな課題等に適切に対処した。</p>		

平成24年度完成 優良委託業務〔局長表彰〕

番号

7

受注者	阿賀川河川維持管理計画検討業務財団法人国土技術研究センター・株式会社建設技術研究所設計共同体 一般財団法人国土技術研究センター 理事長 谷口 博昭 東京都港区虎ノ門3-12-1 ニッセイ虎ノ門ビル	事務所名	阿賀川河川事務所
		業務名	阿賀川河川維持管理計画検討業務
		工期	平成24年12月22日 ～ 平成25年3月22日
		請負金額	9,135千円
選定理由	<p>本業務は、河川砂防技術基準維持管理編(河川編)に基づき、阿賀川河川事務所管内における河川の維持管理をより適確かつ効率的に進めるために、既存の阿賀川河川維持管理計画のPDCAサイクルの構築に関する項目について検討し、それに伴う河川維持管理計画の修正等を行ったものである。</p> <p>PDCAサイクル型河川維持管理が確実に履行され続ける仕組みとして阿賀川をモデルに「PDCAサイクル型河川維持管理の手引き(案)」を作成し、河川維持管理の取り組み状況を「平成24年度河川維持管理レポート」として豊富な業務経験を元に積極的に提案を行い、今後の維持管理における課題等、わかりやすくとりまとめを行った。</p> <p>阿賀川の特徴である住民参加による堤防除草の参加者に自ら適切に堤防点検を行ってもらうことを目的に「堤防点検の手引き～みんなで守る阿賀川～」を極力専門用語等を使わずに、模式図や実際の堤防変状写真等の収集に努め、わかりやすくとりまとめを行った。</p> <p>また、出水時巡視は工学的知識を有する維持管理工事の受注業者が実施することとなり、仮に経験の少ない業者が行う場合にも的確な河川巡視結果を得る必要があるため、阿賀川の特徴を踏まえた「出水時巡視ハンドブック」の作成を行い、更に今後のPDCAサイクルによる見直しの提案等を含めて成果のとりまとめを行った。</p> <p>今後の阿賀川河川維持管理計画に基づく河川管理を行う上で、所有する技術力を十分に生かし有効かつ高品質な成果を納めている。</p>		

平成24年度完成 優良委託業務〔局長表彰〕

番号

8

受注者	東京コンサルタンツ株式会社 新潟支店 支店長 若林 修 新潟県新潟市中央区南笹口1-1-12	事務所名	高田河川国道事務所
		業務名	弁天大橋架替予備修正設計業務
		工期	平成24年8月24日 ～ 平成25年2月28日
		請負金額	13282.5千円
選定理由	<p>本設計業務は国道8号の塩害で劣化した弁天大橋の架替えに伴う橋梁予備設計、道路予備設計、交差点予備設計、一般構造物予備設計および仮橋詳細設計を行ったものである。</p> <p>設計に際し、技術提案した測量、地質調査計画を速やかに提示し、積極的かつ円滑に業務を進め、周辺の土地利用を的確に把握し、知見と経験を生かして、簡潔でわかりやすい成果を作成した。</p> <p>本橋梁は、関係機関、地元住民、海浜利用者から、道路利用、桁下空間、及び海辺空間に対する強い要望があり、計画道路構造物の適正をわかりやすく説明することが重要である。また、飛来塩分による塩害対策が必要である。</p> <p>設計では、関係機関との協議結果を速やかに成果に反映、打ち合わせを積極的に行い円滑に業務を進めることで効率的に業務が遂行された。なお、関係機関との協議には3D-バーチャルリアリティを作成、関係者協議を効率化する工夫がなされた。</p> <p>業務成果はコスト縮減を図るとともに、既設橋梁の点検・補修履歴から塩害影響を把握し、塩害対策や維持管理費を比較指標することで、経済性と維持管理に優れた優秀な設計成果を納めた。</p>		

平成24年度完成 優良委託業務〔局長表彰〕

番号

9

受注者	日本工営株式会社 新潟支店	事務所名	新潟港湾・空港整備事務所
	支店長 澤田 集一	業務名	新潟港環境影響評価資料作成業務
	新潟県新潟市中央区出来島1-11-28	工期	平成24年4月23日 ～ 平成25年3月27日
		請負金額	46,903千円
選定理由	<p>本業務は、新潟港西港区で計画している公有水面埋立事業に係わる環境影響評価準備書および環境影響評価書の作成を行ったものである。業務遂行に当たっては、多岐にわたる予測項目(大気質、騒音、振動、悪臭、水質、動植物、生態系、景観、人と自然との触れ合いの活動の場、廃棄物等、温室効果ガス)について、事業計画を勘案した適切な手法により予測し、その結果を踏まえた環境監視計画等の作成、評価を行い、準備書を取りまとめた。</p> <p>準備書の作成に際して、有識者へのヒアリングや助言を得るとともに、準備書の内容を周知するための説明会も滞りなく実施し、関係機関からの意見等に対しても適切に対応した。特に、地元から懸念されている山の下船江町浜の海水浴場への浮遊ゴミの影響に関する予測・評価に当たっては、明確な予測手法が確立されていない中で、専門家へ助言を求めつつ検討を行った。</p> <p>また、環境省から公表された第4次レッドリストを短期間に準備書に反映させるとともに、浚渫土砂排送設備に係る予測・評価の追加検討や評価書の作成も迅速に対応し、適切に環境影響評価準備書及び評価書を取りまとめ、十分な成果を納めた。</p>		

平成24年度完成 優良委託業務〔局長表彰〕

番号

10

受注者	パシフィックコンサルタンツ株式会社 富山事務所	事務所名	富山河川国道事務所
	所長 吉橋 章	業務名	能越自動車道中波2号跨道橋詳細修正設計他業務
	富山県富山市市丸の内1丁目8番10号	工期	平成24年8月8日 ～ 平成25年3月15日
		請負金額	31,227千円
選定理由	<p>本業務は、能越自動車道七尾氷見道路事業に伴う中波1号跨道橋、中波2号跨道橋(両橋とも仮称)のPC方杖ラーメン橋の詳細修正設計、及び跨道橋施工等のための工事用道路の詳細設計を行う業務である。さらに、全国的に初めてとなるCIM試行業務の先導モデルとして取り組んでいる。</p> <p>本業務の品質を向上させることを目的に、下記の内容を実施している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 道路橋示方書の改訂に伴う地震動の分析的確に行い、その妥当性を分析した上でコスト縮減策を提案し、工期短縮を図る合理的な橋梁修正設計を実施。 2. 地形測量、用地測量と連携を図りながら並行して、工事用道路の設計を実施。 3. 工区全体の最適化を意識した土工、橋梁工の施工計画立案。 4. 国土交通省のCIM導入に向けた試行モデル(先導モデル)として、中波1号跨道橋の3次元化モデルを作成し、鉄筋干渉状況、付属物との取り合い状況等を的確に把握したほか、その効果の検証と、関係機関との調整協議の効率化を実現。 <p>以上、幅広い知識と経験を活かした提案を行い、先導的なモデル事業にも取り組み、優秀な成果をとりまとめた。</p>		

受注者	株式会社 パスコ 長野支店	事務所名	松本砂防事務所
	支店長 伊藤 雅則	業務名	金山沢不安定土塊対策概略検討業務
	長野県長野市緑町1605番地14	工期	平成24年9月11日 ～ 平成25年3月25日
		請負金額	23,163千円
選定理由	<p>姫川水系浦川の源頭部にある稗田山は、明治44年に大崩壊を起こし、流下した土砂は姫川本川の合流点で河道閉塞を起こし流域に大きな被害を出した。その時の流出した土砂量は1億5千万m³と言われている。稗田山が崩壊した土塊は、金山沢の源頭部に不安定な状態で残っており、今までに融雪や降雨等により土砂の流出が続いている。</p> <p>本業務は、金山沢の源頭部に残る不安定な土塊の動態を明らかにするとともに土砂流出に伴う下流への影響及び対策について概略検討を行ったものである。</p> <p>本業務の検討にあたっては、不安定土塊の土砂移動の状況を明らかにすることが重要であり、土塊の移動状況を面的に把握すると同時に、移動している土塊先端部を高精度で把握するための地上レーザ計測を行うなどして、土塊の移動状況について把握することができた。</p> <p>この結果から土塊の崩壊シナリオを検討し崩壊シミュレーションにより下流への影響及び対策工、今後のモニタリング計画について概略検討を行った。</p>		

選定結果

優良建設技術者【工事】（局長表彰） 全11名

	技術者名	現場における役職	受注者名	工事名	事務所名
1	大塚 俊江	監理技術者	穴澤建設株式会社	只見川窪倉前他2箇所災害復旧受託工事	阿賀川河川事務所
2	小底 朝彦	現場代理人 監理技術者	丸運建設株式会社	水原管内維持工事	新潟国道事務所
3	榊原 伸一	現場代理人	株式会社後藤組	筒石函渠工事	高田河川国道事務所
4	高塚 慶	現場代理人	株式会社本間組	下新川海岸生地有脚式離岸堤工事	黒部河川事務所
5	竹内 定男	監理技術者	株式会社佐藤渡辺 北陸支店	国道8号本郷（下り）電線共同溝工事	富山河川国道事務所
6	峠 義輝	現場代理人 監理技術者	株式会社森下組	平成24年度湯沢工区除雪作業	長岡国道事務所
7	戸松 立也	監理技術者	株式会社福田組	大河津可動堰改築右岸上流護岸他工事	信濃川河川事務所
8	長澤 謙児	監理技術者	株式会社相模組	浦川下流第1号砂防堰堤補強その2工事	松本砂防事務所
9	西野 弘造	現場代理人	東洋・不動産トラ特定建設工事共同企業体	敦賀港（鞠山北地区）防波堤基礎工事（その2）	敦賀港湾事務所
10	西野 新平	現場代理人 監理技術者	石川建設工業株式会社	金沢管内道路維持工事	金沢河川国道事務所
11	渡邊 淳	現場代理人 監理技術者	株式会社伊藤組	阿賀野川濁川（上）堤防耐震対策工事	阿賀野川河川事務所

※敬称略
※50音順

選定結果

優良建設技術者【工事】（事務所長表彰） 全11名

	技術者名	現場における役職	受注者名	工事名	事務所名
1	青江 和哉	監理技術者	松本建設株式会社	坂又川排水樋門新設工事	富山河川国道事務所
2	太田 貴博	現場代理人 監理技術者	株式会社富樫組	奥ノ院砂防堰堤工事	飯豊山系砂防事務所
3	尾崎 和信	現場代理人 監理技術者	内山・高建経常建設共同 企業体	日東道地吹雪対策その2工事	羽越河川国道事務所
4	河原 雄二	監理技術者	射水工業株式会社	内川樋管継足及び護岸工事	富山河川国道事務所
5	坂田 親紀	監理技術者	北川ヒューテック株式会 社	能越道 七尾舗装その1工事	金沢河川国道事務所
6	関 陸郎	現場代理人 監理技術者	株式会社種村建設	高平沢第1号砂防堰堤災害関連緊急工事	湯沢砂防事務所
7	高野 義明	監理技術者	福田道路株式会社 新潟 本店	揚川改良 小花地・黒岩地区舗装工事	新潟国道事務所
8	中村 伸也	監理技術者	五洋建設株式会社 北陸 支店	国道49号 揚川改良新揚川トンネル工 事	新潟国道事務所
9	根本 礼誌	現場代理人 監理技術者	日瀝道路株式会社 新潟 営業所	長岡維持出張所管内防災対策工事	長岡国道事務所
10	発田 寛樹	現場代理人	石黒建設株式会社	H24 多枝原谷第28号砂防堰堤工事	立山砂防事務所
11	山根 勝敏	現場代理人 監理技術者	株式会社江口組	手取川岩内地区急流河川対策その3工事	金沢河川国道事務所

※敬称略
※50音順

技術者	大塚 俊江 (監理技術者)	事務所名	阿賀川河川事務所
		工事名	只見川窪倉前他2箇所災害復旧受託工事
		工事場所	福島県河沼郡会津坂下町 大字束松字窪倉前地先他2箇所
	穴澤建設株式会社	工期	平成24年3月9日 ～ 平成25年3月29日
	福島県喜多方市松山町村松字上川原3417-1	請負金額	241,710千円

工事内容	<p>【窪倉前工区】 盛土工21,000m³、コンクリート法枠工435m、排水樋管工2箇所</p> <p>【上川原工区】 盛土工380m³、コンクリート根継工8m、大型コンクリートブロック積工40m</p> <p>【広面工区】 盛土工1,200m³、コンクリートブロック積工89m、縦排水工2箇所</p>
------	---

選定理由	<p>本工事は、阿賀野川水系只見川において平成23年「新潟・福島豪雨災害」で被災した護岸の災害復旧受託工事である。</p> <p>本工事は、発電用ダム調整池運用の影響、東日本大震災被災3県内での資機材・熟練技能者の不足、現場条件の不測の変化、複数工区の同時施工等、高度な施工管理を要する工事であった。</p> <p>監理技術者は、型枠の形状・組立方法・設置(転用)方法に創意工夫することで熟練技術者の不足を解決した。また、仮締切内に想定を大幅に超える湧水が生じたが、県外から大量の綱矢板を調達し、工期の遅延及び施工費の増額を最小限に止めた。さらに、現場が3箇所の点在していたが、資機材及び人員を常に把握し、手待ちや遅延が生じないよう的確な再配置を行う等的確な施工管理をおこない無事故で完成させた。</p>
------	--

窪倉前工区:着手前



窪倉前工区:完成



上川原工区:着手前



上川原工区:完成



平成24年度完成 優良建設技術者(工事)〔局長表彰〕

番号	2
----	---

技術者	小底 朝彦 (現場代理人) (監理技術者)	事務所名	新潟国道事務所
		工事名	水原管内維持工事
		工事場所	新潟国道事務所水原維持出張所管内
	丸運建設株式会社	工期	平成21年4月1日 ～ 平成25年3月31日
	新潟県新潟市中央区幸西1丁目4番 21号	請負金額	651,220.5千円

工事内容

本工事は、水原維持出張所の管理区間における、1箇所あたりの施工が小規模で点在する構造物、側溝、交通安全施設等の維持修繕工事や緊急的な工事である。
 また、管理区間の道路巡回を実施し、落下物及び道路損傷、道路施設の異常の発見、不法占用の確認を行い円滑な交通の確保を図るものである。
 平成23年7月は、新潟福島豪雨により道路決壊陥没の被災を受けた、大牧地区応急復旧工事を施工した。

選定理由

本維持工事は、水原維持出張所管内で、箇所が点在する小規模な構造物等の維持修繕工事や緊急的な工事である。
 また、平成23年7月の新潟福島豪雨による、道路冠水及び道路決壊陥没の被災を受けた阿賀町大牧地先の道路冠水した区間の土砂撤去及び路面清掃、その後に発生した、道路決壊陥没の災害に対して、災害応急復旧対応の大型土のう・袋詰め玉石工の作成、応急復旧工法が定まった際は、大型土のう積工・配水管設置工・舗装工・コンクリート充填工・鉄筋挿入工・鋼矢板設置工の施工を行った。



阿賀町大牧地区の道路決壊陥没箇所
(24時間施工により3日で片側通行に移行)



グレーダによる冠水土砂の撤去状況

技術者	榊原 伸一 (現場代理人)	事務所名	高田河川国道事務所
		工事名	筒石函渠工事
		工事場所	新潟県糸魚川市筒石地先
	株式会社 後藤組	工期	平成24年3月9日 ～ 平成25年3月29日
	新潟県糸魚川市上刈6丁目1番18号	請負金額	211,155千円

工事内容	<p>本工事は塩害による損傷が著しい橋梁事業である糸魚川地区橋梁架替事業として、一般国道8号筒石橋東詰の1径間について、橋下にボックスカルバートを施工し橋梁上部工の耐久性、対応年数の向上を図る工事である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カルバート工(鉄筋工、コンクリート打設、型枠工) ・P1橋梁補修工(ひび割れ注入、ASR補修、炭素繊維巻立、含浸材塗布) ・地盤改良工(セメント改良土による敷均し、転圧) ・舗装工(国道8号、市道) 他
------	--

選定理由	<p>本工事は、一般国道8号筒石橋東詰の1径間について、橋梁下にボックスカルバートを施工する工事であるが、主となるボックスカルバートは現場打ちでの施工であり、橋梁桁下における鉄筋組立作業時のクレーン作業空間が取れないため、近隣の空間を鉄筋組立ヤードとして鉄筋を組み立て、移動式型枠支保工にて引き込みを行った。引き込みにあたっては、レール上を重量物が走ることから基礎地盤の沈下、変状がでないよう地盤改良を行い、基礎鋼材据付精度を上げた、また頂版鉄筋が変形しないよう補強を行うなど、細心の注意を払い、施工を行った。</p> <p>本工事は上記課題に取り組まれたが、これも現場代理人の力量、指導力、創意工夫が十分に発揮されたからのことである。</p>
------	--



【鉄筋組立完了】



【引き込み完了】



【完成】

技術者	高塚 慶 (現場代理人)	事務所名	黒部河川事務所
		工事名	下新川海岸生地有脚式離岸堤工事
		工事場所	富山県黒部市生地地先
	株式会社 本間組	工期	平成24年1月19日 ～ 平成24年11月12日
	新潟県新潟市中央区西湊町通三ノ町 3300番地3	請負金額	469,875千円

工事内容
 本工事は黒部市生地地区の高波対策を目的に、生地沖に有脚式離岸堤を設置する工事である。
 (主な作業内容)
 鋼管杭打設(46本)、堤体据付(L=100m)、その他(間詰工、電気防食工、付属工 等)

選定理由
 本工事は海上作業が主であるため作業可能時期が限定されており、海象状況にも影響を受けやすく、加えて漁業関係者との打合せにより、堤体ブロックの海上据え付け作業は8月中に完了しなければならなかった。このような、時間制約の中、厳格な工程管理と高精度な出来形管理が必要な工事であった。さらに、別途発注ブロック製作工事と常に工程調整を図りながらの堤体据付作業であり、密な情報共有と工程調整が必要であった。
 このような状況の中、当工事の現場代理人として地域、漁業関係者への情報提供や個別調整、また関係機関及び他工事との協議、調整を的確に行いトラブル無く工期内に完成させ、海岸防災を要望していた地域に対しても好印象を与えた。また、各作業段階の随所に自ら立案した創意工夫を取り入れ、施工性及び品質の向上を図った。
 工事期間中は「下新川海岸工事関係者連絡会」会長として、関係工事全体をとりまとめ、受・発注者相互の連絡調整や地域貢献活動等を行った。
 これも当現場代理人の力量、指導力等、工事全体における管理能力が十分に発揮されたからである。

鋼管杭打設状況



完成



函体据付状況



完成(手前の離岸堤 L=100m)



技術者	竹内 定男 (監理技術者)	事務所名	富山河川国道事務所
		工事名	国道8号本郷(下り)電線共同溝工事
		工事場所	富山県高岡市本郷地先
	株式会社佐藤渡辺北陸支店	工期	平成24年2月22日 ～ 平成25年3月27日
	富山県富山市婦中町上轡田431-1	請負金額	123,375千円

工事内容	電線共同溝 L=190m 電線共同溝工 1式、付帯設備工 1式、舗装工 1式、 排水構造物工 1式、防護柵工 1式、道路附属物設置工 1式
------	---

選定理由	<p>本工事は、国道8号下り高岡市本郷地先における電線共同溝工事である。</p> <p>施工箇所は国道沿いの開発が進み沿道には商店が連亘する中心市街地であり、交通量、歩行者も多く、また、既設の占有物件が多数存在することから、限定された空間において通行車両や歩行者の安全を確保しつつ、施工と占有物件の支障移転を平行して行うことが重要な工事であった。また、同種工事が連続した区間で進められていることから、工事の安全対策や円滑な進捗には的確な工程調整・管理が必要な工事であった。</p> <p>監理技術者は、関係機関や沿道関係者、多様な占有者との調整を積極的に行い、的確な工程管理を行い、工事の迅速化や規制期間の短縮化に努めるとともに、架空線や地下埋設物件の損傷事故回避のための工夫を重ね、無事故で工事を終えた。</p> <p>また小学生を対象とした見学会を開催することで地域とのコミュニケーションを図るとともに、見学会がマスコミに大きく取り上げられ、社会資本整備に関する広く一般の理解を深めることに尽力した。</p>
------	--



完成写真



標識バルーン設置状況

技術者	峠 義輝 (現場代理人) (監理技術者)	事務所名	長岡国道事務所
		工事名	平成24年度 湯沢工区除雪作業
		工事場所	新潟県南魚沼郡湯沢町貝掛～湯沢町 字中島川原地先
	株式会社 森下組	工期	平成24年10月10日 ～ 平成25年3月31日
	新潟県南魚沼郡湯沢町神立130番地	請負金額	187,215千円

工事内容	国道17号の湯沢町貝掛～中島川原間の道路及び歩道の除雪を行う作業
------	----------------------------------

選定理由	<p>本作業は、全国でも有数の豪雪地域を除雪する作業であり、今冬は例年より早い積雪で、その後何度も大きな寒波があり、例年の倍の高速道路の通行止め等が発生した中で適切な路面管理を実施し、登坂不能車も少ない状況であった。</p> <p>当該技術者は、安全対策の検討やコスト縮減のためロータリーのスイングオーガを活用し中央分離帯の除雪を効率的に処理する方法等の計画を検討、発生品等で登坂不能車の早期脱出のための工夫をするなど創意工夫をもって積極的に作業を実施した。</p> <p>また、二居工区や塩沢工区とも連携し工区間応援を実施したり、歩道除雪車の配置見直しを実施、地域とのコミュニケーションにも努め、苦情も例年より少なく、無事故で作業を完了した。</p>
------	--




除雪作業状況



スイングオーガを活用した中分の雪堤処理



塩ビ管を活用した脱出装置

技術者	戸松 立也 (監理技術者)	事務所名	信濃川河川事務所
		工事名	大河津可動堰改築右岸上流護岸他工事
		工事場所	新潟県燕市五千石地先
	株式会社 福田組	工期	平成23年7月21日 ～ 平成25年3月19日
	新潟市中央区一番堀通3番地10	請負金額	729,750千円
工事内容	高水敷造成盛土 60,900m ³ 、矢板護岸(二重タイプ) 271m、中詰土盛土 11,100m ³ 、高水敷保護工 8,861m ² 、粗朶沈床 1,498m ² 、根固ブロック(4t) 241個、旧可動堰撤去 1式		
選定理由	<p>本工事は、大河津可動堰改築事業に伴う右岸上流護岸及び高水敷造成を施工するほか、役割を果たした旧可動堰の解体撤去等を行う工事である。</p> <p>施工では、高水深部での水中盛土となる仮締切設置の他、支障物を撤去しながら出水期までに矢板護岸の施工を完了させなければならず、自然条件並びに工程上で厳しい工事であった。</p> <p>そのような中で、河川水の浸透を少なくするための土堤締切施工での工夫やウェブカメラやGNSS等の情報機器を活用した施工管理を実施するなど、現場に則した技術的提案を行いながら、品質向上に努め安全に余裕をもって工事を完成させた。</p> <p>これに加え、地域から注目されていた旧可動堰の撤去作業の着手に先立って、事務所・期成同盟会・関係NOP法人等と連携して「旧可動堰撤去式」を開催するなど、地域とのコミュニケーションを重視して施工を行った。</p>		
 			

技術者	長澤 謙児 (監理技術者)	事務所名	松本砂防事務所
		工事名	浦川下流第1号砂防堰堤補強その2工事
		工事場所	長野県北安曇郡小谷村北小谷地先
	株式会社 相模組	工期	平成24年2月23日 ～ 平成24年12月21日
	長野県大町市大町3052	請負金額	185,692.5千円

工事内容	作業土工(床掘り 6,600m ³ 、埋戻し 750m ³) コンクリート堰堤本体工(コンクリート 3,455m ³ 、型枠ブロック 442個、残存型枠 131m ²) 構造物取壊し工(根固めブロック撤去 282個) 迂回路工 一式
------	---

選定理由	<p>本工事は、浦川上流域の金山沢、唐松沢の合流下約1キロに位置する浦川下流第1号砂防堰堤の上流に型枠ブロックを用いた砂防堰堤を構築する2期目の工事である。</p> <p>当工事箇所は、日本有数の荒廃溪流である浦川上流域であり、資材運搬路は狭隘な生活観光道路を利用しなければならなかった。受注者は、これらの現場条件下で、環境への配慮・土石流対策・早出打設によるコンクリートの品質向上と他現場との打設重複を避ける打設計画など、環境・安全及び品質の対策に積極的に取り組み、無事故で工事を完成させた。</p>
------	---

<p>専用吊金具を使用した据付状況</p> 	<p>内部からの充填打設と打継面の明示</p> 
<p>アイアンフォーク仕様のBHIによる撤去状況</p> 	<p>専用のブラケット式足場</p> 
<p>分別式ゴミステーション</p> 	<p>国道わきでのゴミ拾い</p> 

技術者	西野 弘造 (現場代理人)	事務所名	敦賀港湾事務所
		工事名	敦賀港(鞠山北地区)防波堤基礎工事 (その2)
		工事場所	福井県敦賀市鞠山地先
	東洋・不動テトラ特定建設工事共同企業体	工期	平成24年3月22日 ～ 平成25年1月11日
	東洋建設株式会社北陸支店 石川県金沢市畝田東3丁目87番地	請負金額	633,885千円

工事内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎工 66.0m ・堤体工 1式 ・根固工 1式 ・撤去工 1式 ・上部工 1式 ・付工 1式
------	--

選定理由

本工事は、防波堤の基礎の造成および被災ケーソン1函を復旧した工事である。施工条件としては、狭い工事区域内に最大3件の工事が輻輳するとともに、短期間に約8万m³の捨石投入と、被災したスリットケーソンの撤去・復旧を行うものであることから、本現場代理人は他工事との工程調整等を積極的に主導し、綿密な施工管理を行った。

また、大量・急速施工する捨石投入にあたって、不足する積出し場所の確保や、被災ケーソン再据付の10月末頃までの据付可能時期を逸しない確実な作業期間の確保のため、上床版撤去における海上作業(人力撤去作業)を必要最小限にとどめる等、技術・創意工夫を以て施工管理にあたり、防波堤事業全体の工程に影響を与えることなく、無事故で本工事を工期内に完成させた。



上床版撤去状況



ケーソン再据付状況

技術者	西野 新平 (現場代理人) (監理技術者)	事務所名	金沢河川国道事務所
		工事名	金沢管内道路維持工事
		工事場所	金沢国道維持出張所管内
	石川建設工業株式会社	工期	平成21年4月1日 ～ 平成25年3月31日
	石川県金沢市桂町木85番地	請負金額	260,872千円

工事内容	排水構造物工1式、防護柵工1式、道路附属施設工1式 橋梁附属物工1式、道路巡回1式
------	--

選定理由	<p>本工事は、金沢国道維持出張所管内の維持工事である。</p> <p>本工事は、点在する広範囲の現場において、主に一般交通を規制しながら道路附属施設の補修及び機能復旧工事や異常気象時(地震等)における道路保全工事や道路巡回を行うものである。</p> <p>上記技術者は、監督職員からの指示に対して、夜間・休日を問わず緊急的な作業において迅速に対応するとともに、自ら積極的に施工法方の提案を行うなどの取り組みを行い、4年間にわたる長期期間において、無事故・無災害で工事を完成させた。</p>
------	---



GRC製板埋設型枠を利用した側溝蓋補修工
(R159 金沢市)



技術者	事務所名	阿賀野川河川事務所	
	工事名	阿賀野川濁川(上)堤防耐震対策工事	
	工事場所	新潟県新潟市北区濁川地先	
	株式会社 伊藤組	工期	平成24年3月8日 ～ 平成25年1月31日
	新潟県新発田市島潟1273番地1	請負金額	261,135千円

工事内容	(河川土工)掘削工3,900m ³ 、盛土工3,100m ³ 、法面整形工1,100m ² (地盤改良工)静的締固砂杭工(ドレーン1.7m+砂杭8.9m、10.5m)303本 (矢板護岸工)広幅鋼矢板(Ⅲw型、25H型、L=14.5m、16m)335枚、浸透対策工1式、笠コンクリート26m (法覆護岸工)植生工6,740m ² 、ドレーン工1式、付帯道路工1式 (仮設工) 工事用道路工1式		
------	--	--	--

選定理由

本工事は、全国防災対策河川事業の堤防耐震・液状化対策として、阿賀野川河口部右岸3.2k付近を延長280mに渡り川表堤防法尻に砂杭、川裏堤防法尻に鋼矢板を施工した工事である。工事区域は、川表側は新潟市占用の公園に隣接していたため、周辺環境に配慮することや、事業目的・工事内容の説明性を向上する必要があったが、公園と調和した絵入りの目隠し板で離隔措置を講ずると共に、公園内に音声案内を設置し事業目的・工事内容を流すなど各種取り組みを行い、工事を円滑に進めた。また、施工においては、鋼矢板圧入時に発生する泥水を河川敷雑木を利用し粗朶を作成し濾過することにより循環利用するなど各種工夫を行い施工を行った。安全管理面でも、ラジオ放送による土砂運搬車両への注意喚起を行うなど各種取り組みを行い安全施工に努めた。その他、地元の祭りへの参加や、高校の土木科生徒を対象とした工事見学会を行うなど、地域に公共事業に対する好印象を与えたほか、建設業の若手育成にも寄与した。



粗朶泥水フィルター状況



砂杭施工本数確認工夫



飛砂防止対策

選定結果

優良建設技術者【委託業務】（局長表彰） 全11名

	技術者名	委託業務 における役職	受注者名	業務名	事務所名
1	審良 郁夫	管理技術者	株式会社オリエンタル コンサルタンツ 北陸支店	栗ノ木道路高架橋詳細設計その3業務	新潟国道事務所
2	片野 明良	管理技術者	株式会社エコー 北陸事務所	新潟港海岸(西海岸地区)波浪等観測調査	新潟港湾・空港整備事務所
3	神田 和久	管理技術者	開発技建株式会社	平成24年度国道17号湯沢地区他整備方針検討業務	長岡国道事務所
4	小村 辰彦	管理技術者	東京コンサルタンツ株式会社新潟支店	弁天大橋架替予備修正設計業務	高田河川国道事務所
5	臼杵 伸浩	管理技術者	アジア航測株式会社新潟営業所	H23.7豪雨崩壊特性等解析業務	湯沢砂防事務所
6	西本 直史	管理技術者	いであ株式会社 北陸事務所	大河津可動堰周辺施設検討業務	信濃川河川事務所
7	原 隆文	管理技術者	株式会社建設技術センター	H23金沢東環 御所トンネル(2期線) 詳細設計業務	金沢河川国道事務所
8	南口 浩志	管理技術者	パシフィックコンサルタンツ株式会社 富山事務所	能越自動車道中波2号跨道橋詳細修正設計他業務	富山河川国道事務所
9	村上 正人	管理技術者	株式会社建設技術研究所 北陸支社	平成23年度常願寺川中・下流域堰堤配置計画検討業務	立山砂防事務所
10	柳澤 修	管理技術者	阿賀川河川維持管理計画検討業務財団法人国土技術研究センター・株式会社建設技術研究所設計共同体	阿賀川河川維持管理計画検討業務	阿賀川河川事務所
11	横田 浩	管理技術者	株式会社パスコ 長野支店	金山沢不安定土塊対策概略検討業務	松本砂防事務所

※敬称略
※50音順

選定結果

優良建設技術者【委託業務】（事務所長表彰） 全15名

	技術者名	委託業務 における役職	受注者名	業務名	事務所名
1	石井 茂	主任技術者	株式会社ナカノアイシステム上越支社	国道8号親不知地区数値図化業務	高田河川国道事務所
2	江川 千洋	管理技術者	株式会社キタック	平成24年度大石ダム管理支所下方斜面地すべり調査業務	羽越河川国道事務所
3	神山 博志	管理技術者	日本工営株式会社 新潟支店	新潟港環境影響評価資料作成業務	新潟港湾・空港整備事務所
4	亀田 満	管理技術者	株式会社国土開発センター	H24 梯川堤防測量設計業務	金沢河川国道事務所
5	川井田 敏久	主任技術者	朝日航洋株式会社 北陸空情支社	新潟海岸汀線・詳細地形測量業務	信濃川下流河川事務所
6	菊地 英一	管理技術者	株式会社長大 北陸事務所	平成24年度 凍結防止剤散布作業の出来形管理手法検討業務	北陸技術事務所
7	木村 浩	管理技術者	エヌシーイー株式会社	万代島ルート道路詳細設計業務	新潟国道事務所
8	佐野 滝雄	管理技術者	アジア航測株式会社 北陸支店	高原川流域自然環境モニタリング調査業務	神通川水系砂防事務所
9	都丸 真人	管理技術者	株式会社東京建設コンサルタント北陸支社	平成24年度 洪水予測システム等改良検討業務	富山河川国道事務所
10	中條 優	管理技術者	三井共同建設コンサルタント株式会社北陸事務所	平成24年度神通川魚類生息環境調査検討業務	富山河川国道事務所
11	野村 尚樹	管理技術者	株式会社日本海コンサルタント	H24 能登地区道路設計外業務	金沢河川国道事務所
12	萩原 義和	主任担当者	株式会社協同測量社	管内用地境界標設置業務	千曲川河川事務所
13	比留間 雅紀	管理技術者	一般財団法人砂防・地すべり技術センター	火山災害に対する危機管理計画検討業務	松本砂防事務所
14	古池 豊	管理技術者	大日本コンサルタント株式会社北陸支社	平成24年度長岡国道管内交通安全施設等設計業務	長岡国道事務所
15	溝口 伸一	管理技術者	日本工営株式会社 新潟支店	平成24年度 北陸地域における社会資本整備計画検討業務	企画部

※敬称略
※50音順

平成24年度完成 優良建設技術者(業務)〔局長表彰〕

番号

1

技術者	審良 郁夫 (管理技術者)	事務所名	新潟国道事務所
		業務名	栗ノ木道路高架橋詳細設計その3業務
	株式会社オリエンタルコンサルタンツ北陸支店 新潟県新潟市中央区東大通2丁目3番26号	工期	平成23月8月11日 ～ 平成25年3月28日
		請負金額	93,765千円
選定理由	<p>栗ノ木道路事業の国道高架化に伴い、笹越橋交差点に架橋する高架橋の詳細設計、一級河川信濃川水系栗ノ木川の河道付替詳細設計、構造物施工に当たり支障となる架空・地下埋設されたライフラインの協同収容施設の概略設計を実施した。</p> <p>設計地点は、国道7号と主要地方道の交差点部で日5万台の交通量があり、国道と平行する河川と県道、県道と国道を結ぶ河川渡河橋により交差点が複数連続する交通処理が複雑な箇所である。また、数多くのライフラインが添架・敷設されており、設計・施工ステップ検討に当たり、数多くの制約条件を綿密な設計・解析により、道路構造令、河川構造令に適合した構造物の設計を実施した。</p>		

平成24年度完成 優良建設技術者(業務)〔局長表彰〕

番号

2

技術者	片野 明良 (管理技術者)	事務所名	新潟港湾・空港整備事務所
		業務名	新潟港海岸(西海岸地区)波浪等観測調査
	株式会社 エコー 北陸事務所 新潟県新潟市中央区万代島5-1		平成24年10月12日 ～ 平成25年3月22日
		請負金額	35,175千円
選定理由	<p>大規模な侵食をうけている、新潟港海岸(西海岸地区)は潜堤と突堤および養浜を組み合わせた面的防護工法により侵食対策を進めている。施工済みの区間では、潜堤背後における洗掘溝の形成や沿岸流の発生により養浜砂の流出が生じていることから、汀線から洗掘溝までの海浜の安定の検討と沿岸流の抑止を図った2列潜堤の水理特性の解明が急務となっている。</p> <p>本業務は、侵食対策を議論する委員会の基礎となる波浪の観測データを取得する調査である。冬季高波浪時での精度の高い観測が求められることから、計測機器の設置にあたっては観測地点での地形変化のトレンド解析を行い、設置することで欠測を回避し確実にデータを取得することができた。</p> <p>当該管理技術者は、欠測なくデータを取得したうえで過去の委員会内容を熟慮し計測機器の複数設置とタイマー設定の工夫を提案し重要なデータの計測を行うことができ、その成果は委員会での高度な議論につながるものとなった。</p>		

平成24年度完成 優良建設技術者(業務)〔局長表彰〕

番号

3

技術者	神田 和久 (管理技術者)	事務所名	長岡国道事務所
		業務名	平成24年度国道17号湯沢地区他整備方針検討業務
	開発技建株式会社 新潟県新潟市中央区紫竹山7-13-16	工期	平成24年12月18日 ～ 平成25年3月29日
		請負金額	24,885千円
選定理由	<p>本業務は、国道17号(南魚沼湯沢町)及び国道253号(十日町市)において、国道の問題把握及び原因分析を行い、整備計画案を検討したものである。当技術者は、業務実施にあたり当該路線の重要性を十分に認識し、防災面や交通機能面など種々の検討、地域との合意形成や事業化に向けた基礎資料のとりまとめ等に積極的に取り組み、高度な技術力により優れた成果をとりまとめた。</p>		

平成24年度完成 優良建設技術者(業務)〔局長表彰〕

番号

4

技術者	小村 辰彦 (管理技術者)	事務所名	高田河川国道事務所
		業務名	弁天大橋架替予備修正設計業務
	東京コンサルタンツ株式会社 新潟支店 新潟県新潟市中央区南笹口1-1-12	工期	平成24年8月24日 ～ 平成25年2月28日
		請負金額	13,282.5千円
選定理由	<p>管理技術者として、塩害対策について、現橋梁の点検・補修の履歴と試験結果から塗装鉄筋の効果やコンクリート塗装の有効性を検討、桁形状による塩害対策効果や維持管理費など現地に応じた項目を橋種選定の比較指標とし、成果品の向上に努めた。</p> <p>また、塩害劣化した現橋をけた下に設けるボックスカルバート支持構造では、既設橋と新設橋の応力状態の相違に配慮、構造境界に緩衝材を設けるなどひび割れ発生等に配慮した設計方針を作成、構造の適正化に努めた。</p> <p>当技術者は管理技術者として、多くの課題に知識、経験を生かした積極的提案を行うとともに、効率的な遂行で優秀な成果を作成した。</p>		

平成24年度完成 優良建設技術者(業務)〔局長表彰〕

番号

5

技術者	臼杵 伸浩 (管理技術者)	事務所名	湯沢砂防事務所
		業務名	H23.7豪雨崩壊特性等解析業務
	アジア航測株式会社 新潟営業所 新潟県新潟市中央区東大通2丁目3番28号	工期	平成24年10月12日 ～ 平成25年3月22日
		請負金額	24,832.5千円
選定理由	<p>本業務は、平成23年の豪雨により発生した魚野川等における土砂崩壊特性について、地質及び降雨等の要因との関係について解析するとともに、登川流域において豪雨前後の溪床・河床材料の粒径変化特性についても解析するものであった。本業務においては、広範囲に散在する崩壊地の詳細な現地調査と、河床材料の変化を的確に把握する必要があり、最新の技術を活用するなど既往最大規模の降雨による土砂災害に対し、工夫を凝らしとりまとめ、十分な成果が提示された。</p>		

平成24年度完成 優良建設技術者(業務)〔局長表彰〕

番号

6

技術者	西本 直史 (管理技術者)	事務所名	信濃川河川事務所
		業務名	大河津可動堰周辺施設検討業務
	いであ株式会社北陸事務所 新潟県新潟市中央区東大通二丁目5番1号	工期	平成24年12月20日 ～ 平成25年3月29日
		請負金額	22,890千円
選定理由	<p>・本業務は、大河津可動堰の通水後における最新の測量データを基に、大河津可動堰周辺の河道内の状況を把握した上で今後の可動堰周辺の河床変動を予測・評価し、将来に渡って可動堰及び堰周辺の各種施設の機能確保に必要な最適の施設配置及び河道管理の在り方について検討を行うものである。</p> <p>・「非定常準三次元流－平面二次元河床変動解析モデル」の構築等、河床変動予測精度の向上に努め、そのうえで可動堰等周辺の洪水流の流速や流向(低水路の落込み、高水敷への乗り上げ等)等に着目し、対象施設の機能等を勘案した対策工の検討を行い、今後の設計にあたっての方針を整理した。</p> <p>・また短い工期であったにも関わらず、業務目的等を的確に把握し、業務の進捗状況等について逐次報告及び今後の業務の進め方の提示がなされるなど、計画性のある遂行が図られた。</p>		

平成24年度完成 優良建設技術者(業務)〔局長表彰〕

番号

7

技術者	原 隆文 (管理技術者)	事務所名	金沢河川国道事務所
		業務名	H23金沢東環 御所トンネル(2期線)詳細設計業務
	株式会社建設技術センター 東京都千代田区飯田橋四丁目7番10号	工期	平成23年12月13日 ～ 平成24年6月29日
		請負金額	18,060千円
選定理由	<p>御所トンネル2期線は、固結度の低い大桑砂岩層を歩道付きの大断面で掘削するもので、さらに偏土圧・低土かぶり・地耐力不足が懸念される箇所のトンネル詳細設計である。本設計にあたっては、経済的な内空断面、偏土圧の解析、補助工法の検討、供用済みのI期線への影響解析等多岐にわたる検討事項について、管理技術者が設計担当チームのリーダーシップ発揮し、品質の高い設計業務をおこなった。</p>		

平成24年度完成 優良建設技術者(業務)〔局長表彰〕

番号

8

技術者	南口 浩志 (管理技術者)	事務所名	富山河川国道事務所
		業務名	能越自動車道中波2号跨道橋詳細修正設計他業務
	パシフィックコンサルタンツ株式会社富山事務所 富山県富山市丸の内1丁目8番10号	工期	平成24年8月8日 ～ 平成25年3月15日
		請負金額	31,227千円
選定理由	<ol style="list-style-type: none"> 1. 道路橋示方書の改訂に伴う地震動の分析を的確に行い、その妥当性を分析した上でコスト縮減策を提案し、工期短縮を図る合理的な橋梁修正設計を実施。 2. 地形測量、用地測量と連携を図りながら並行して、工用道路の設計を実施。 3. 工区全体の最適化を意識した土工、橋梁工の施工計画を立案。 4. 国土交通省のCIMの導入に向けた試行モデル(先導モデル)として、中波1号跨道橋の3次元化モデルを作成し、鉄筋干渉状況、付属物との取り合い状況等を的確に把握したほか、その効果の検証と、関係機関との調整協議の効率化を実現。 <p>以上、幅広い知識と経験を活かした提案を行い、先導的なモデル事業にも取り組み、優秀な成果をとりまとめた。</p>		

平成24年度完成 優良建設技術者(業務)〔局長表彰〕

番号

9

技術者	村上 正人 (管理技術者)	事務所名	立山砂防事務所
		業務名	平成23年度常願寺川中・下流域堰堤配置計画検討業務
	株式会社 建設技術研究所 北陸支社 新潟県新潟市中央区万代4丁目4番27号	工期	平成23年9月13日 ～ 平成24年12月28日
		請負金額	64,995千円
選定理由	<p>本業務は、一連の掃流区間に設置されている既設堰堤の機能を考慮した透過型砂防堰堤の配置計画の立案及び、立山砂防事務所における透過型砂防堰堤設計の基本的考え方のとりまとめを行うものである。前例に無い大規模の水利模型実験の実施にあたり、水利模型実験及び数値計算それぞれの長所をうまく組み合わせ、適切かつ効率的な実験計画を立案した他、既往実験での課題であった土砂供給条件について、小支浜や溪岸から土砂供給をさせ最も現象が再現できる実験計画を立案する等、適切な業務遂行により実用性の高い成果を得ることができたため、上記技術者を選定するものである。</p>		

平成24年度完成 優良建設技術者(業務)〔局長表彰〕

番号

10

技術者	柳澤 修 (管理技術者)	事務所名	阿賀川河川事務所
		業務名	阿賀川河川維持管理計画検討業務
	阿賀川河川維持管理計画検討業務財団法人国土技術研究センター・株式会社建設技術研究所設計共同体 一般財団法人国土技術研究センター 東京都港区虎ノ門3-12-1ニッセイ虎ノ門ビル	工期	平成24年12月22日 ～ 平成25年3月22日
		請負金額	9,135千円
選定理由	<p>本業務は、阿賀川河川事務所管内における河川の維持管理をより適確かつ効率的に進めるために、既存の維持管理計画のPDCAサイクルの構築に関する項目について検討し、それに伴う河川維持管理計画の修正等を行ったものである。</p> <p>PDCAサイクル型河川維持管理が確実に履行され続ける仕組みとして「PDCAサイクル型河川維持管理の手引き(案)」、河川維持管理の取組み状況をとりまとめた「平成24年度河川維持管理レポート」、堤防除草参加者(流域住民)による確実な堤防点検実施のための「堤防点検の手引き～みんなで守る阿賀川～」、出水時の河川巡視を的確に実施するための「出水時巡視ハンドブック」の作成を企画し、管理技術者として中心となって多岐に渡り優良にとりまとめを行った。</p>		

技術者	横田 浩 (管理技術者)	事務所名	松本砂防事務所
		業務名	金山沢不安定土塊対策概略検討業務
	株式会社 パスコ 長野支店	工期	平成24年9月11日 ～ 平成25年3月25日
	長野県長野市緑町1605番地14	請負金額	23,163千円
選定理由	<p>本業務は、姫川水系浦川の源頭部にある不安定土塊の挙動調査と崩壊シナリオの検討及び崩壊シミュレーションによる下流への影響、対策工の検討をするものである。</p> <p>検討にあたっては、不安定土塊の挙動について正確に観測する必要があるが、上記管理技術者は、移動杭観測や地上レーザ計測の他過年度のレーザ計測データやオルソ写真などの解析から現在の土塊の挙動について概ね把握することができた。</p>		

選定結果

優良工事における下請負者表彰（21件）

	優良工事 (元請負者)	下請負者表彰受賞者 所在地	専門工事業	事務所名
1	揚川改良 西地区舗装工事 (鹿島道路株式会社 北陸支店)	高橋土建株式会社 新潟県胎内市関沢37番地1	とび・土工事業	新潟国道事務所
2	能越道 七尾舗装その1工事 (北川ヒューテック株式会社)	ホクシン工業株式会社 石川県金沢市神田1-13-1	とび・土工事業	金沢河川国道事務所
3	海老江河道掘削工事 (株式会社小池組)	延本建設株式会社 新潟県胎内市新栄町1番8号	とび・土工事業	羽越河川国道事務所
4	国道49号 揚川改良新揚川トンネル工事 (五洋建設株式会社 北陸支店)	西行建設株式会社 島根県益田市高津6-22-21	とび・土工事業 鉄筋工事業	新潟国道事務所
5	国道49号 揚川改良新揚川トンネル工事 (五洋建設株式会社 北陸支店)	丸磯建設株式会社 関東支店 神奈川県川崎市川崎区殿町2-19-6	とび・土工事業	新潟国道事務所
6	H23三日市高架橋他橋梁補修工事 (酒井工業株式会社)	株式会社 デーロス・ジャパン 石川県金沢市森戸1丁目104番地	とび・土工事業	金沢河川国道事務所
7	高平沢第1号砂防堰堤災害関連緊急工事 (株式会社種村建設)	株式会社元店建設 新潟県南魚沼市中野23-1	とび・土工事業	湯沢砂防事務所
8	能越道 黒崎川橋上部工事 (鉄建建設株式会社 名古屋支店)	株式会社 鮎活 長野県飯田市育良町1-12-5	とび・土工事業	金沢河川国道事務所
9	敦賀港(鞠山北地区)防波堤基礎工事(その2) (東洋・不動テトラ特定建設工事共同企業体)	株式会社 北瀬海運建設 福井県丹生郡越前町厨7号30番地12	とび・土工事業	敦賀港湾事務所
10	敦賀港(鞠山北地区)防波堤基礎工事(その2) (東洋・不動テトラ特定建設工事共同企業体)	株式会社 関組 福井県越前市栗田部町6号26番地	とび・土工事業	敦賀港湾事務所
11	敦賀港(鞠山北地区)防波堤基礎工事(その2) (東洋・不動テトラ特定建設工事共同企業体)	有限会社 曾根工業 福井県敦賀市新松島町20番1号	とび・土工事業	敦賀港湾事務所
12	信濃川下流堤防面災害復旧その2工事 (株式会社廣瀬)	日之出建材株式会社 新潟県新潟市南区戸頭2874-1	とび・土工事業	信濃川下流河川事務所
13	大河津可動堰改築右岸上流護岸他工事 (株式会社福田組)	株式会社 斎藤組 新潟県新潟市西蒲区大原3459-1	とび・土工事業	信濃川河川事務所
14	大河津可動堰改築右岸上流護岸他工事 (株式会社福田組)	株式会社 田村建設 新潟県新潟市西区四ツ郷屋宇岩山3153-1	とび・土工事業	信濃川河川事務所
15	揚川改良 小花地・黒岩地区舗装工事 (福田道路株式会社 新潟本店)	株式会社帆苺組 新潟県阿賀野市保田1111番地	とび・土工事業 ほ装工事業	新潟国道事務所
16	島田友杉築堤護岸工事 (株式会社婦中興業)	常南工業株式会社 富山県富山市馬瀬口868番地	とび・土工事業 石工事業	富山河川国道事務所
17	田上築堤その2工事 (株式会社北條組)	飯山陸送 株式会社 長野県飯山市大字静間280-1	とび・土工事業	千曲川河川事務所
18	阿賀野川左岸松浜町堤防耐震対策その2工事 (株式会社皆川組)	有限会社瑞穂重機 新潟県新潟市北区濁川4020-1	とび・土工事業	阿賀野川河川事務所
19	大河津可動堰改築右岸管理橋下部その1工事 (株式会社吉田建設)	株式会社 伊藤建設 新潟県長岡市福道町字前田760	とび・土工事業	信濃川河川事務所
20	新潟港(西港地区)第二西防波堤築造工事(その2) (若築建設株式会社 北陸支店)	高橋秋和建設 株式会社 秋田県由利本荘市西目町沼田字弁天前40-198	とび・土工事業	新潟港湾・空港整備事務所
21	新潟港(西港地区)第二西防波堤築造工事(その2) (若築建設株式会社 北陸支店)	有限会社 宮澤建設工業 新潟県北蒲原郡聖籠町大字網代浜字榎1516-2	とび・土工事業	新潟港湾・空港整備事務所

※50音順(元請負者)

選定結果

優良工事における下請負者の専任技術者表彰（18名）

	優良工事 (元請負者)	下請負者表彰 受賞専任技術者	専門工事業	事務所名
1	揚川改良 西地区舗装工事 (鹿島道路株式会社 北陸支店)	高橋土建株式会社 高松 和幸	とび・土工事業	新潟国道事務所
2	能越道 七尾舗装その1工事 (北川ヒューテック株式会社)	ホクシン工業株式会社 山本 圭一	とび・土工事業	金沢河川国道事務所
3	国道49号 揚川改良新揚川トンネル工事 (五洋建設株式会社 北陸支店)	丸磯建設株式会社 関東支店 久野 悟郎	とび・土工事業	新潟国道事務所
4	国道49号 揚川改良新揚川トンネル工事 (五洋建設株式会社 北陸支店)	西行建設株式会社 渡辺 宏	とび・土工事業 鉄筋工事業	新潟国道事務所
5	H23 三日市高架橋他橋梁補修工事 (酒井工業株式会社)	株式会社 デーロス・ジャパン 山崎 俊之	とび・土工事業	金沢河川国道事務所
6	高平沢第1号砂防堰堤災害関連緊急工事 (株式会社種村建設)	株式会社元店建設 高橋 富二	とび・土工事業	湯沢砂防事務所
7	能越道 黒崎川橋上部工事 (鉄建建設株式会社 名古屋支店)	株式会社 鮎活 皆川 薫	とび・土工事業	金沢河川国道事務所
8	敦賀港(鞠山北地区)防波堤基礎工事(その2) (東洋・不動テトラ特定建設工事共同企業体)	株式会社 北瀬海運建設 塚 真也	とび・土工事業	敦賀港湾事務所
9	敦賀港(鞠山北地区)防波堤基礎工事(その2) (東洋・不動テトラ特定建設工事共同企業体)	有限会社 菅根工業 下川 直克	とび・土工事業	敦賀港湾事務所
10	敦賀港(鞠山北地区)防波堤基礎工事(その2) (東洋・不動テトラ特定建設工事共同企業体)	株式会社 関組 田中 弥稔	とび・土工事業	敦賀港湾事務所
11	信濃川下流堤防法面災害復旧その2工事 (株式会社廣瀬)	日之出建材株式会社 臼井 久男	とび・土工事業	信濃川下流河川事務所
12	揚川改良 小花地・黒岩地区舗装工事 (福田道路株式会社 新潟本店)	株式会社帆苺組 阿部 政裕	とび・土工事業 ほ装工事業	新潟国道事務所
13	大河津可動堰改築右岸上流護岸他工事 (株式会社福田組)	株式会社 田村建設 鈴木 修一	とび・土工事業	信濃川河川事務所
14	大河津可動堰改築右岸上流護岸他工事 (株式会社福田組)	株式会社 斎藤組 渡邊 桂二	とび・土工事業	信濃川河川事務所
15	島田友杉築堤護岸工事 (株式会社婦中興業)	常南工業株式会社 森元 康浩	とび・土工事業 石工事業	富山河川国道事務所
16	田上築堤その2工事 (株式会社北條組)	飯山陸送 株式会社 鈴木 静雄	とび・土工事業	千曲川河川事務所
17	阿賀野川左岸松浜町堤防耐震対策その2工事 (株式会社皆川組)	有限会社瑞穂重機 湯浅 良徳	とび・土工事業	阿賀野川河川事務所
18	大河津可動堰改築右岸管理橋下部その1工事 (株式会社吉田建設)	株式会社 伊藤建設 若杉 淳也	とび・土工事業	信濃川河川事務所

※敬称略
※50音順(元請負者)